

平成29年 予算審査特別委員会 会議録

招 集 年 月 日	平成29年 3月16日 (木曜日)			
招 集 場 所	伊江村議会議事堂			
開 会	3月16日 13時30分 渡久地政雄委員長宣言			
延 会	3月16日 17時17分 渡久地政雄委員長宣言			
出 席 委 員 (応 招 委 員)	1	島 袋 義 範 委 員	7	渡久地 政 雄 委 員
	2	島 袋 勉 委 員	8	亀 里 敏 郎 委 員
	3	山 城 善 彦 委 員	9	知 念 一 邦 委 員
	5	内 間 広 樹 委 員	10	名 嘉 實 委 員
			11	内 田 竹 保 委 員
欠 席 委 員				
本会議に職務のため出席した者の職氏名	議会事務局長 島袋裕次君 主 査 知念一史君			
地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	村 長	島 袋 秀 幸 君	副 村 長	名 城 政 英 君
	教 育 長	宮 里 徳 成 君	総 務 課 長	内 間 常 喜 君
	政策調整室長	宮 城 弘 和 君	建 設 課 長	金 城 和 廣 君
	教育行政課長	東 江 民 雄 君	農 林 水 産 課 長	知 念 吉 久 君
	会 計 管 理 者	宮 里 政 喜 君	福 祉 課 長	亀 里 裕 治 君
	公 営 企 業 課 長	西 江 正 君	住 民 課 長	西 江 忍 君
	商 工 観 光 課 長	万 寿 祥 久 君	農 業 委 員 会 事 務 局 長	島 袋 英 樹 君
	医 療 保 健 課 長	大 城 強 君	総 務 課 長 補 佐	山 城 直 也 君
議事日程及び会議に付した事件	別紙のとおり			
会 議 の 経 過	別紙のとおり			

平成29年予算審査特別委員会議事日程（第1号）

平成29年3月16日（木）午後1時30分 開 会

日程	議案番号	件名
第1	議案第4号	平成29年度伊江村一般会計予算（質疑・討論）

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

ただいまから、予算審査特別委員会 1 日目を開会します。

(開会時刻13時30分)

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

日程に入ります。

日程第 1 議案第 4 号 平成29年度伊江村一般会計予算を議題とします。

これから質疑を行います。歳入、款ごとに質疑を許します。

1 款村税。歳入 1 ページから 6 ページまで。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。2 款地方譲与税。7 ページから 9 ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。3 款利子割交付金。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。4 款県民税配当割市町村交付金。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。5 款県民税株式等譲渡所得割市町村交付金。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。6 款地方消費税交付金。10 番 名嘉 實委員。

○ 10 番 名 嘉 實 委員

きのう、亀里委員からも質疑がありましたが、地方消費税交付金が、前年度2,000万円余り減となっている理由について、説明をしてください。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

住民課長 西江 忍君。

○ 住民課長 西 江 忍 君

この地方消費税交付金につきましては、県からの交付金ではございますが、全体的に見ましてやはり、消費税の交付金でありますので、消費喚起が全体的に低迷したために、消費税の歳入がなかったための交付金の減額ではないかと考えております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

ほかに質疑ございませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。7 款ゴルフ場利用税交付金。14 ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。8 款自動車取得税交付金。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。9 款国有提供施設等所在市町村交付金。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。10 款地方特例交付金。17 ページから 18 ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。11 款地方交付税。19 ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。12 款交通安全対策特別交付金。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。13 款分担金及び負担金。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。14 款使用料及び手数料。22 ページから 24 ページまで。

1 番 島袋義範委員。

○ 1 番 島 袋 義 範 委員

24 ページの農林水産手数料に関連しまして、お伺いします。

堆肥販売料ですけれども、以前に堆肥が販売当初、何か塩分が強くて、あまり上等でないということで農家の皆さんからあまり人気になかったんですけれども、最近は何かいという評判が出て、また30%の補助もあることも関係していると思うんですけれども、今は人気が出ていますけれども、当初のやり方と変わったのかどうか、その辺、お伺いしたいんですけれども。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

この堆肥センターの当初の計画の製造は、アイドロー液というものを使用して、それを噴霧しながら、攪拌して製造する工程での製造をしております。それが2年、3年と続いた中で、その塩分濃度が高くなってきたと、それを受けて、今年度からそのアイドロー液を噴霧しないで製造する工程といたしますか、そういう形での製造を行っております。それをもって、その塩分濃度を測っておりますが、それがこの1年で大分落ちてきているという結果は出ております。

○ 委員長 渡久地政雄君

1番 島袋義範委員。

○ 1番 島袋義範委員

予算資料に出ていないと思うんですけども、堆肥センターの販売量といたしますか、どのぐらいの伸びがあるのか、その辺をお伺いします。

○ 委員長 渡久地政雄君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

生産量、販売量、それぞれ年度を追うごとに伸びてきているのは確かでございますが、資料として提示してございませんので、それをまとめて後ほど、提示する形でよろしいでしょうか。わかりました。後ほど、お答えいたします。

○ 委員長 渡久地政雄君

ほかに質疑ございませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。15款国庫支出金。25ページから27ページまで。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。16款県支出金。28ページから31ページまで。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。17款財産収入。32ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。18款寄附金。33ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。19款繰入金。34ページ。1番 島袋義範委員。

○ 1番 島袋義範委員

34ページの9目ちゅら島づくり応援基金繰入金に関して、お伺いします。

きのうの答弁で返礼品というんですか、お返しの商品を額の40%程度と答弁があったと思いますけれども、返礼品の合戦といたしますか、いろいろと新聞で話題になって、こんなに多くの返礼をしたのでは意味ないんじゃないかとか、いろいろとありましたけれども、この40%というのは、県内市町村では高い水準なのか低い水準なのか。あるいは市町村の平均というのは、どのぐらいなのか、把握しているのかどうか、お伺いします。

○ 委員長 渡久地政雄君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

今年度の12月から一括代行業務ということで、委託先も決まりまして全国展開の広報活動をしているところでございます。その中で、返礼品が40%ほどを見込んでいますと、想定してありますとお答えいたしました。この率についてはほぼ中間といたしまししょうか、平均ぐらいのもので、低いところだと30%、そして高いところだと50%から60%というところもあります。確かに委員が御指摘のとおり、全国的にもものすごく過敏になるというか合戦、この返礼品合戦をやっているという御批判もあつたり、また総務省のほうからもその用途についても、また明確にうたい、そしてそういった使用した場合の、基金を使用した場合の周知、そういった

たものもしっかりとやるようにというような指導といたしますか、そういったものも今、あるところでございます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

1番 島袋義範委員。

○ 1番 島 袋 義 範 委員

40%ということで、先ほどいろんな新聞での合戦で、どうかなということもありましたけれども、これは小さな市町村にとっては、歳入の大きな財源にもなることだし、また返礼品によって、島をピーアールしていくというところは大事なことだと思いますので、だけど気をつけないといけないのは、やはりもらうのよりも返すのが多くなってはいけないことだし、その辺は注意しながらやっていただきたいと思います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

おっしゃるとおりだと思いますし、またこれにつきましては、当初の趣旨がございます。応援したい自治体、そして出身で、その村おこし、まちづくりといたしますか、そういった村政に対する応援というのが趣旨でございますので、その辺はしっかりと踏まえながら対応をしてみたいと思います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

ほかに質疑ございませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。20款繰越金。35ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。21款諸収入。36ページから40ページ。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。22款村債。〔「質疑なし」の声あり〕

歳入、全般にわたって質疑を許します。ございませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。歳出、款ごとに質疑を許します。

1款議会費。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。2款総務費。3ページから21ページまで。11番 内田竹保委員。

○ 11番 内 田 竹 保 委員

総務費に関連してお伺いいたします。村の新生活運動実践協議会の組織のもとに、新生活運動が展開されておりますけれども、これは以前にも議会の中で取り上げられておりました。その中の祝儀、香典袋についてでありますけれども、つい最近、年忌焼香に行く機会がありましたけれども、約40名の皆さんが焼香をされておりましたけれども、村が出している香典袋について、利用しているのが私だけでした。今守っているんですけれども、何か寂しい思いというのか、嫌な思いをした経緯があるんです。祝儀袋についても、昨晚、合格祝いである方に聞きましたけれども、昨晚の祝儀袋については、90%が村のものを活用していたということ聞きまして、大変喜んでるところなんですが、実際にお祝いの形態によっても、この祝儀袋の使い道が変わるのかという思いをしているわけです。ですから、その生活推進協議会の中でももう一度、この祝儀袋の活用について、これ真剣に議論する必要があるのではないかと思います。村民の中で、もしこれが「必要ない」と、アンケート等もとっていただいて、必要がないということであるならば、印刷代ですか。その封筒をつくる経費もかからずに済むわけですが、これ真剣に考えていただきたいという思いがするんですが、いかがでしょうか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

まずこの祝儀袋、そして香典袋、そして新生活運動の趣旨についての周知徹底について、御指摘を過去にいただきまして、平成26年度に新生活推進協議会を開催して、その内容について検討いただきました。その中で例えば出産祝いですと、今まで「2,000円」だったのを「3,000円」にさせていただいたり、また生年祝いにつきまして85歳以上に関しては「5,000円」に引き上げたりとか、徹底できている部分はそのまま。そして実際に、時代にそぐわない部分に関しては改正していきましようというので、そういったスタンスで改正をしていただいた経緯がございます。その中で、年次的にいろいろと工夫を施しまして、この祝儀袋をきのう使われたと思いますが、この祝儀袋に関しては、もう少し、使いやすいような形で、金額を裏のほうに載せるとか、この包装の装飾といたしますか。この柄をもう少し工夫してくれないかというような御意見をいただいて改正し、そして今、委員の御意見ですと90%というお話がありましたが、90%だと合格点なのかどうか分かりませんが、まずまずなのかと、事務局では考えているところで、この香典袋に関してもこういった形で、村民が使いやすいように、使っていただけるようなデザインでやっていくように、今後改正といたしますか。この印刷屋と今、調整をしているところでございまして、なるべく年忌焼香とか、新16日とか、そういったものでも活用いただけるような形で、また区長会でも御意見がありましたので、そういったことも踏まえて今、見直しをしていきたいというふうに進めているところでございます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

11番 内田竹保委員。

○ 11番 内 田 竹 保 委員

きょう、午前中に公民館に行く機会がありまして、新しいデザインにかえるということで、それも伺いました。ぜひですね、せっかくの実践協議会の中で、村がそれを発行しているわけですから、村内における祝儀、葬儀とかの場合は年忌焼香も含めて、あらゆる焼香も含めてなんですが、この封筒を実際に利用していただきたいということですので、協議会の中、あるいは区長会の中にも一段と、強力にこれを進めていただきたいと思っております。新生活運動については、以上です。

あと1点、10数年前まで、職員一覧名簿というのがありました。これは今、何か個人情報保護条例の中ではつくれないということなんですが、私たち議会、私の立場からすると、今若い職員の皆さんが、役場で働いているということで、紹介もありますけれども、なかなか覚えるのが難しいところもあって、「あれ、ダーノ、クワガヤー」と、「ウヤヤ、ターガヤー」ということで、よく考えるときがあるんですね。これは外部にあげるとか、そういったことではないんですが、何とか数年に一度はこの職員名簿、配置図ですよ。今回4月1日に人事異動もあるわけですから、そういったことを含めて、職員名簿について、ぜひ実現していただきたいと思うんですが、いかがですか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

もう10数年来、この個人情報保護、そして情報公開とあいまって、個人情報を保護しなければいけないということで、プライバシー、そういったものも踏まえて、そのころからこの各課の職員名簿といたしますか、そういったものをお配りするのを遠慮しているところもあります。

また、過度に神経質になりすぎるのも問題なのかなという部分もあつたりします。こういった地域の中では、そういったコミュニティーを支えていく中では、ともにわかりあえるような関係も必要な部分もあろうかと思えます。委員のおっしゃることに関しても職員が若返りしてしまっていて、なかなか覚えるのが難しいというか、状況もおありだと思います。例えば、役場のこの座席表といたしますか、そういった形でとか、工夫をしながら、もしこういった情報公開、提供といたしますか。そういった形でできたらと思っておりますので、

その辺できる範囲といいますか。限度もあるとは思いますが、工夫をしてみたいと思います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

8番 亀里敏郎委員。

○ 8番 亀 里 敏 郎 委員

3ページの2款総務費、1項1目一般管理費、またがりまして4ページの細節1366. 世界のイージマンチュ交流派遣事業30万円についての御説明をお願いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

細節1366. 世界のイージマンチュ交流派遣事業について、御説明を申し上げます。平成27年度に派遣事業として8名、教育長を団長としまして、南米3カ国に8名を派遣いたしました。そして去年、世界のウチナーンチュ大会にあわせて、世界のイージマンチュ交流会ということで、伊江村のほうで30名ほどの外国に住む世界のイージマンチュの皆さんをお招きして、交流会をしたことは、記憶に新しいことだと思います。今、双方向の交流ということで、国際理解、そして伊江島から雄飛し、そして世界で活躍されている皆さんとの交流、そして絆を深めていこうということで、双方向でのこの交流として、平成27年度に行って、平成28年度にお招きして、また平成29年度にはまた派遣するというので、8月ごろにまた南米3カ国を中心に、同レベル、同じような形で、団員を派遣し、交流を深めていければということで予算を計上しているところでございます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

8番 亀里敏郎委員。

○ 8番 亀 里 敏 郎 委員

去年の世界のウチナーンチュ大会並みのことをやるんですか。それと報償費ですから、この報償の内容を教えてくださいませんか。30万円の。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

報償費に予算措置をしております30万円についてでございますが、なにしろ海外でこういう交流、そして民泊といいますか。ホームステイ、例えば中学生と青年会に関してもそうなんですが、ホームステイをします。ホームステイ先の家族がおります。また、例えばブラジル、アルゼンチン、ボリビアでもそうなんですが、交流会を向こうのほうで開催をしていただくわけなんです。そのときにお招き、あちらのほうはものすごく熱烈歓迎をしていただくんですけども、やはりこちらからも負担をし、その経費相当額といいますか。会場の使用料とか、料理代とか、そういったものに関して、あちらの村人会、そういった組織に謝礼として差し上げるために、予算を措置しているものでございます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

8番 亀里敏郎委員。

○ 8番 亀 里 敏 郎 委員

去年の本番のあれだけの大きかりな世界のイージマンチュ大会をやりまして、この報償費でどのぐらいの計上をされましたか。こうして具体的に報償費で支出をした事業といえましょうか、どういうところに支出をされたか。その辺を説明していただけませんか。

今回の報償費については、予算を計上するときに、どういうことについてか、大まかなことはあったと思

います。その辺のところを説明していただきたいと思います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

平成27年度に実施しておりますので、その実績について、調査といたしますか、資料を収集して後ほど、提示したいと思います。よろしいでしょうか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

8番 亀里敏郎委員。

○ 8番 亀 里 敏 郎 委員

ことしの予算計上するに当たっての積算というのがありましたら、これも一緒にお示しいただきたいと思っています。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

基本的には、平成29年度におきましてもブラジル、アルゼンチン、ボリビア3カ国、特に戦後移民、イージマンチュが移民した場所にということを今、計画をしております。基本的には各国に10万円ずつということで、今30万円を計上しているところでございます。ただ一昨年度のものに関しましては、ほぼ実績にあわせた形ではありますが、その辺を資料として調査し、また提供したいと思っています。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

2番 島袋 勉委員。

○ 2番 島 袋 勉 委員

歳出の4ページ、先ほど島袋義範委員からもありましたが、ちゅら島づくり応援寄附金の基本概要、それと13節で委託料にも入っていますが、そのちゅら島づくり応援寄附金業務の委託料と、それと歳出12ページの13節の委託料の中の1384. スポーツ交流センター整備基本計画策定事業、説明の中では、合宿所の検討等とありましたが、今現在、その合宿所の検討でどこに建てるとか、基本的な考えを持っているのかどうか、お伺いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

歳出5ページのほうからよろしくお願いたします。委託料のちゅら島づくり応援寄附金業務でございますが、これはプロポーザルのほうで、入札ではなく提案型で業者を選定いたしました。本土業者と県内で事業を営む業者2社がプロポーザルに参加をしまして、その中でこの検討委員会の中で選考した結果、県内で活動している実際に事業を営んでいる事業者がこの受注業者としてなりまして、これにつきましては、ふるさとチョイスという全国展開するホームページといたしますか。IT、インターネットでこの伊江村をピーアールし、伊江村での返礼品等を掲示しながら、全国でピーアールしていただく業務、そして今業務内容を申し上げているんですけれども、そういったインターネットでの広報活動、そして返礼品の開発、これは村内での業者、物産センターをはじめ、農協、漁協、そして農産物の生産農家とか、特産品をつくっている業者、そういった方々がじかに伊江島に來まして、掘り起こしをし、商品の紹介をし調整をするという業務ですね。そして返礼品を受注、発送、配送管理もします。

そして、寄附の申し込み、受け付け対応、クレジットの受け付け確認、銀行振り込み等の業務、郵便振替

の業務全般、そして寄附金の収納、これに関してはクレジットカードの決裁、ヤフー交付金決裁、そういったものも導入しながら、カードで手早く迅速にできるような形で、このシステムを整備していただく業務であります。

そしてピーアール業務、先ほど申し上げましたとおり、ふるさとチョイスにおいて、広告を掲載していくということでございます。そして問い合わせによる対応のほうも役場に直接する場合がありますが、基本的にはその業者が請け負って、こういったものの問い合わせ、苦情処理、そういったものまで請け負うこととなります。そういったもろもろの一括代行として、業者が対応し、この業者におきましては、北部の近隣市町村の何カ所かの市町村も対応をしまして、そういった知識、技術には大変たけて、信頼のおける業者でございますので、それらを委託するための委託費として計上しているものでございます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

政策調整室長 宮城弘和君。

○ 政策調整室長 宮 城 弘 和 君

1384. スポーツ交流センター整備基本計画策定業務についての御質疑にお答えしたいと思います。合宿施設の計画地につきましては、現在、計画を進めております総合運動公園施設整備の近傍が望ましいものとは考えておりますが、今回の基本計画策定の中で、合宿施設からの移動可能距離等の調査検証や現地調査及び関係機関との協議調整を図りながら、候補地における課題や法規制及びその他の計画条件の整備を行うとともに、既存施設の利活用も視野に入れた、あらゆる選択枠を考慮しながら、多面的総合的に判断をして、計画地の策定を今後検討するというところでございます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

追加して答弁いたしますが、この委託料に関しましては、定額ではなくて寄附金の15%ということを考えております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

2番 島袋 勉委員。

○ 2番 島 袋 勉 委員

わかりました。これは寄附金に対してのパーセンテージということで、委託料は今現在幾らという概算というか、その年度での委託料、寄附金に対する15%ということが委託料ということで考えてよろしいわけですか。わかりました。

1384. のほうなんですが、検討していくということでまだ位置等に関してはいまから検討の段階ということで、よろしいわけですね。一応は俗にいうB&G海洋センター、今の体育館の施設がありますよね。それも老朽化して大分古くなっていて、体育館等の雨漏りなどがひどくて、改修工事も何回もされて、どうにかその施設を今までもってきているんですが、その改修も含めての検討も視野に入っているのかどうか。お伺いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

政策調整室長 宮城弘和君。

○ 政策調整室長 宮 城 弘 和 君

今回のスポーツ交流センター整備基本計画策定業務につきましては、合宿所に係る基本計画の調査でございまして、B&G海洋センター等の他施設の今後の整備計画については、今回の業務では想定していないということになります。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

2番 島袋 勉委員。

○ 2番 島 袋 勉 委員

わかりました。合宿所と海洋センターを切り離して考えているということで、理解したいと思いますが、関連する施設でもあります。まずその位置的なものも申し上げると、屋内練習場、それと野球場等から一番近い施設となると、今のB&G海洋センターの位置からすると、大分利便性もよく、そういった総合運動公園から徒歩で行ける場所にもなります。既存の施設の利用等も勘案をして、できるだけ遠い場所ではなく、近隣で歩いていける施設、村外から来る皆さんにとっては、村内での移動のほうも、村外からマイクロバス等を取り入れて移動される団体もありますが、できるだけ村内ではそういった車を利用しないで、徒歩で移動される皆さんも重々おられます。そういった面も含めて、移動があまり遠い場所にならないように、施設の利用をより近くでできる場所をぜひ検討されるようお願いしたいと思います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

3番 山城善彦委員。

○ 3番 山 城 善 彦 委員

歳出5ページの、細節123. 人事評価制度支援業務について、説明を聞き漏らしたかと思しますので、よろしくお願いたします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

細節123. 人事評価制度支援業務でございますが、平成27年度にこの評価制度のシステムと申しましょうか、この制度を職員にしっかりと周知を図り、そしてどういった形で評価をしていくという研修会を含めて導入をし、平成28年の4月から本格運用を今、しているところでございまして、約半年間置きに期首、最初の4月に目標を設定し、そして9月に半年の評価をし、そして10月から3月までの目標を各職員が設定し、そして3月にそれをまた評価するというような形で人事評価が行われております。これは能力評価とか、業績評価とかいろいろとあるわけなんですけれども、これにつきましてはなかなか難しいといいますが、人が人を評価するという初めての制度でもございまして、各市町村でも相当、苦勞をしながら今進めているところでございます。その中で、管理職たる課長、課長補佐、そしてまた村長、副村長もそういう評価をする立場にあるわけなんですけれども、そういった管理職の評価、評価する側の研修をしていかないと、誤った評価をしてはならないと。それがまた給料、そういった待遇面にも反映してくるとなると、何か慎重に研修をしていかなければいけません。その辺で、その制度に相当、内容に精通した方の研修をしていくために、この支援業務として予算を計上しているところでございます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

3番 山城善彦委員。

○ 3番 山 城 善 彦 委員

おっしゃるとおり、人を評価するというのは大変難しいと思いますが、これは平成28年度から始まっているということなんです、これは結局、課長以上の皆さんが、一般の職員を評価するということで理解してよろしいですか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

主事、主査については、補佐が一次評価者、二次評価者が課長ということになります。課長補佐を評価するのは一次評価者が課長、二次評価者が副村長という形で評価をすることになります。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

3番 山城善彦委員。

○ 3番 山 城 善 彦 委員

約1年ほどたっているわけですが、これについて、総務課長、率直な意見で本当にこれが果たして、この人を評価して萎縮させたり、いろんなことがあると思いますけれども、こう見て、成果をどういうふうに感じていますか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

委員が懸念されている部分、十分承知しているところではございます。導入している私たちもものすごく、どうやったらいいのかということに迷いながらやっている部分もございます。ただ内容の中には、職員一人一人が目標を立てて、そしてどういうふうにやっていきます。どういうふうに仕上げていきますというようなスタンスで計画を立てながらやっていくという中で、それをまたはたで見ながら評価をしていくという管理職、中間管理職の役割というのも重要なのかということもあって、やっているこのノウハウというか、進めていく内容については、私はすばらしいものではないかと思えます。ただそれをすぐに給与に反映するというのが、なかなか難しいというか、二の足を踏むというか、微妙なところもありまして、それをしっかりと公平にやるために、そういった研修をやはり随時やっっていけないと、仕事を見なければいけないのに、人の性格を見てしまうという部分があってはならないというところがありまして、その辺のために管理職が研修をしていかなければならないのかということで、予算計上をしているところでございます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

3番 山城善彦委員。

○ 3番 山 城 善 彦 委員

今おっしゃったとおり、本当に難しいと思いますが、この研修というのは村内でやるんですか、それともほかへ行って他市町村の皆さんも一緒になって研修をするということですか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

伊江村役場の中で、この業務の合間といいますか。あいたときにやるものですから、何グループかに分けて、伊江村役場の中会議室のほうでやる予定です。その知識のある方がしっかりとこういろんな講義もしながら、そしてこの場合はどういうふうに評価しますかという事例も交えながら、やることになると思います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

3番 山城善彦委員。

○ 3番 山 城 善 彦 委員

ぜひ課内がぎくしゃくしないような形で、やってもらいたいと思えますし、私たちから見たら、逆にそういうことよりも仕事の進行状況、それぞれの担当の仕事の進行状況をやはり上司が見て、こういろいろと手助けやアドバイス、いろんなことをやりながら、こうして進めていくというのが、一番理想な形なのかと思っていますが、こういう制度がありますので、ぜひこれを生かしていいような仕事ができるような体制をぜひお願いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

私からも少しだけ人事評価について、答弁をさせていただきたいと思います。

一般的に非常に難しい、そういう人を評価するというのですが、法律で定められておまして、それを実施しないといけないという部分で、基本的に勤務時間中の評価をします。その後の部分は評価対象外です。そういう中で基本的に給与に反映はしますけれども、基本給の削減とかには反映される。一時賞与、その辺の勤勉手当に反映をさせていくという感じですので、なかなか人事評価すると、給料が下がるのではないかと懸念もありますが、そういう部分はそういう人事評価の中では、即反映はしていない。伊江村においても、人事評価はしますけれども、即勤勉手当に反映していくかということは、この人事評価の今後の適正な運用がなされた場合に反映をしていくかどうかを考えていくという部分で、いろんな難しい面もありますが、逆にいい面からいうと、やはり職員からいうと、自分のこの仕事の部分がこの人事評価によって、適正評価されて、自分の今後の昇給、昇任その辺の部分の中で、しっかりと自分の能力を発揮していく。そういうような一つの制度になる可能性もありますので、先ほど総務課長からありましたが、今年度の自分の業務でそういう部分を立派に計画を立てて、100%あるいはそれ以上達成した職員については、当然その適切な評価が加えられるわけですから、その辺も見て今後の職員の人事異動、あるいは昇給、昇任とかその辺の部分に反映をさせていくという、まだそういう効率的な効果的な運用を図れば、職員の資質向上につながりますし、役場全体としての行政能力の向上につながっていくということです。今回、計上しています。そういう支援業務も活用しながら、適正な人事評価を行いつつ、職員の能力を高めて、村民の行政需要に対応できるような組織づくりに生かしていきたいと思っておりますので、議員の皆さんもそういう部分で、こう見守りながら、提言とかいただければと思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

1番 島袋義範委員。

○ 1番 島 袋 義 範 委員

去った定例会でしたか、一般質問の中で本村職員のラス指数の件が一般質問で出されておりましたけれども、その当時は、80%台で県内でもずっと下のほうだということで指摘があって、村長のほうも、これから改善を図るといような答弁があったと思いますけれども、今回の議会で職員の給料表の件で条例改正がありましたね。5級から6級に上げられたんですけれども、それでどれぐらいの効果があるのかどうか、疑問にも思うんですけれども、今後どういうふうな方法がこのラス指数の改善について、方法があるのか。お伺いしたいと思います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

一般質問で内間広樹議員から御質問があったとき以降に、平成28年度4月1日現在のラスが発表されました。それによりますと、その前は33位でしたが、3ランク上がって30位になりまして、92.3ポイントということで、2.4ポイント上がった経緯がございます。この要因としては、人事担当、給与担当と確認したところ、伊江村ではちょうどその時期に「主事」から「主査」、あるいは「主査」から「課長補佐」ということで、若い年齢層が昇任したということが影響していること。そしてさらに退職者とこの新人の職員のこの新旧交代といえますか。そういったものも影響をして上がったんじゃないかと推測をしているところでございます。

そして今回、6級を新設したことで、どれくらい上がるのかというお話なんですが、一朝一夕でなかなかできるものでもございませんし、これができたからすぐに上がるというものでもないと思います。また、可決はいただきましたけれども、運用をこれからやるわけですから、どういった課長補佐が何級、主査が何級ということで、これは条例例規で決まっておりますので、それに基づいて当然やるわけなんですけれども、その運用の方法というのは、これからでございますので、それ次第ということと。これだけで上がるのかというと、当然ほかの市町村も6級があるわけですから、それに基づいてそちらもやりますので、ただほかの市町村が上がる、上がらないは関係なく、ラスというのは国の国家公務員との比較ですので、私はこれで幾分かは上がる可能性が出てくるんじゃないかと思っていますし、村長の英断といえますか、そういった運用の判断を、この事務レベルでいろいろと情報を提供しながら判断していただくことになろうかと思っています。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

1番 島袋義範委員。

○ 1番 島 袋 義 範 委員

それと号給制度がもう長らく伊江村は5級どまりだったんですけれども、今回ようやく6級に引き上げされたということで、北部の市町村では、6級制度、5級制度をまだ使って、どれぐらいの割合なのか。その辺わかりましたら、お願いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

まだ5級のところと6級のところが幾つあるかということで、よろしいでしょうか。ほとんどの市町村が6級で、伊江村が5級だったという感じですので、ほかの市町村に並んだというような形でございます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

総務課長からもありましたが、私は6級の等級の制度によって、確実にラスは上がっていくものだと、個人的には思っております。そういう中で島袋委員も御存じだと思いますが、これまでの5級の中では、やはり給与の適正の面で、長い間、補佐にいた方が課長になったときに、ずっと以前から課長をしているとすぐ逼迫するというような、そういう事情もありましたので、その部分も踏まえながら、今回の6級の制度という部分の導入に踏み切ったというような経緯もありますので、今回この5級から6級制度の中で、伊江村の職員の職務給の適正化が図られつつ、ラスのポイント向上にもつながっていければよいのかと思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

11、12ページについて、伺います。レク広場関連経費、19節負担金補助金及び交付金700万円となっております。去った9月議会で、ゴルフ場の経営状況について説明を受けたんですが、その決算資料によると、本来ならば169万3,950円の赤字になるべき収益が、この700万円の補助によって、530万6,047円の黒字になりました。その黒字になったことによって、税金はどういうふうになるかということを知りたいんですが、その当時の答弁では、均等割のみ課税されるということでした。所得割については、黒字になった場合、発生しませんか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

住民課長 西江 忍君。

○ 住民課長 西江 忍君

ゴルフ場の所得割の額ということだと思っておりますが、済みません、手持ち書類がございませんので、後ほど、お答えさせていただきたいと思えます。

黒字になれば、所得割が発生するかということですので、当然黒字になれば、そういう申告をされていれば、所得割が発生するのではないかと考えております。

○ 委員長 渡久地 政雄君

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名嘉 實委員

平成29年度予算案にも同じ、平成28年度と予算同額の700万円が計上されているんですが、補助金額については、赤字分の補てんだけに限定すべきではないですか。どう考えますか。

○ 委員長 渡久地 政雄君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋 秀幸君

名嘉委員のただいまの御質疑の考え方もあろうかと思っております。そういう中で、この伊江島カントリーに700万円の運営の補助金を提案をして、議決をいただいたときにも申し上げましたが、「どのぐらいあるんですか」という部分の話の中で、とりあえず3年間をめどに村として支援をしていきたいと申し上げた経緯があります。そういうことで、平成29年度は多分、3年目に当たると思っておりますので、平成29年度まではこの700万円の部分を支援していきたいと思っておりますし、名嘉委員のおっしゃるこの700万円という部分に限って申し上げれば、村民税のゴルフ場利用交付金が200何十万円として、収入もありますので、赤字の部分プラスこのゴルフ場利用税交付金の部分を超えて、ほぼ700万円ぐらいの金額になるのかと、個人的には思っておりますが、いずれにしても、当初のこの運営補助金として支援をしていくという部分の中で、3年間をめどにやっていきたいと申し上げておりますので、今回の平成29年度のこの運営補助をして、今後についてはまた白紙に戻して考えていく時期にきていると思っております。

○ 委員長 渡久地 政雄君

5番 内間広樹委員。

○ 5番 内間 広樹 委員

歳出5 ページ、細節106. PC設定及び不具合調整手数料について、もう一度説明をお願いいたします。

○ 委員長 渡久地 政雄君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間 常喜君

5 ページの106. PC設定及び不具合調整手数料についてでよろしいですね。これにつきましては、役場庁舎、そして公民館を含むこの公共施設、公用施設の中にありますパソコンが数100台ございますけれども、その業務におけるソフトを入れたりとか、あるいは新たに購入した場合のPCの設定、そして実際に今現在は、LGWANという国、県からの情報も、そしてインターネットも同じように使えておまして、北部広域ネットワークという名護からの通信、そういったもろもろの通信が今、錯綜しているという、変な言い方なんですけど、一手にこう情報が手に入るような形になっております。その中でどうしても不具合が出てまいりますので、そういった一つ一つの不具合に総務課のIT担当者1人で回ることはできませんので、村内のIT業者のほうで、その不具合に対応をして修繕をしていくための手数料でございます。

○ 委員長 渡久地 政雄君

5番 内間広樹委員。

○ 5番 内 間 広 樹 委 員

わかりました。関連してお伺いします。一昨年ですか、気象観測機器を村内3カ所、西崎公民館から伊江島空港、それと子どもの森広場でしたか、3カ所に設置しているんですが、この観測データは担当課に行かないとこのデータはもらえないという状況なので、ぜひこの村のホームページをアクセスすれば、その画面でこのデータが見れるというふうに、システム改修というのをやっていただけないかと思いますが、いかがでしょうか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

たしか、そうですね。村内3カ所に設置された気象情報、気象観測情報ですか。風向、風速、そして雨量とか、そういった情報が入ってくるわけでございまして、農林水産課の確か入り口のほうで見えることはできます。それをホームページの中でというお話がございしますが、こういった情報をリアルタイムでホームページ上で、ごらんになることができるのであれば、特に農家とか、そういった方々にとっては、ものすごくありがたい情報なんだろうなというふうに理解をしているところでございます。

その中で今、現在総務課のほうで、予算説明の中でも幾度も申し上げておりますけれども、セキュリティ強靱化事業を進めてきておりまして、基幹系のこの情報システムとインターネットを切り離すということを今やっているわけなんです、その中でそういったリアルタイムで気象観測情報がこのホームページの中で、実際に掲載できるのか。その分量がどうなのかという技術的なこと。そして今分離しようとしているこの2つのものの分離を、分離の中でそれをどう位置づけて、セキュリティを守っていくかというセキュリティ面、そしてこの入れた業者がたしか、県内ではなくて本土だったような気がいたします。その業者とのこの連携といいますか。実際に可能なのか。そういった事例があるかということも調べながら、ぜひ前向きにこれができたら、すごい画期的なことなのかと私も考えております。どういった方法でできるかですね。検討させていただければと思います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

休憩します。

(休憩時刻14時32分)

再開します。

(再開時刻14時45分)

2款のほうで、島袋義範委員の答弁に保留がありましたので、農林水産課長、答弁をお願いします。

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知 念 吉 久 君

先ほど、答弁を保留していました堆肥の販売実績について、御報告いたします。

数字は細かいので約で報告いたしますので、よろしく願いいたします。平成25年度の販売量でございます。約124トン、平成25年度はじめ中途からでございます。販売金額が114万円、平成26年度、これも完熟から中熟フレコン袋詰めと、トータルの数字でございますので、よろしく願いいたします。平成26年度販売量が約1,600トン、金額にいたしまして1,160万円、平成27年度販売量2,381トン、販売金額が1,503万円、そして平成28年度まだ中途でございまして、詳しい数字がまだ出ていないんですが、販売量として約3,000トン近くにのぼる見込みをしております。金額に関しては、30%引きになりますので、金額的には落ちてくると。そういう状況でございます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

総務費よろしいでしょうか。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。3款民生費。22ページから33ページまで。

8番 亀里敏郎委員。

○ 8番 亀里敏郎委員

23ページの3款民生費の1項1目19節、細節105. 村老人クラブ育成補助金、同じく106. 単位老人クラブ育成補助金に関連いたしまして、質疑をさせていただきます。昨年の4月の多目的の屋内運動場の供用から、昨年の12月までの9カ月間での利用者は、きのうB&Gで調べてきましたら、述べ9,159名で、そのうちの6,136名がゲートボール関係での利用者らしいです。その間に大会も、村内、村外者との交流大会が合わせて8回開催されております。村老人クラブの会員からは、屋内運動場への心からの感謝と、高い評価の声がたくさんあります。しかしながら、屋内運動場のコートは、人工芝使用であります。各区にあるコートは天然芝であり、練習場と大会場とのギャップがかなり大きく、いろいろな課題も発生しているようで、老人クラブの会員の皆様から各区にもある、ほとんど2面もっているらしいですね。その1面は人工芝に張り替えてはいただけないかという、強い要請があるのですが、その対応はできないか、お伺いをさせていただきたいと思えます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

福祉課長 亀里裕治君。

○ 福祉課長 亀里 裕 治 君

私のほうでも、社協のほうから老人クラブの今年度の大会状況などの資料が届いていますので、少し報告させて、答弁していきたいと思えます。

村老人クラブ連合会を主として、屋内運動場を会場としたゲートボール大会が平成28年度は、これから開催されるYYYクラブ杯主催の大会を含めて、7大会が開催され、村内外からおおむね1,100余りの参加があるということにぎわっていることも承知しておりますが、ただいまの御質疑については、新しい情報で伊江老人会から、直接的なお話もありますが、高齢者福祉の観点からいたしましては、高齢者の生きがいづくり、あるいは地域コミュニティーの拡大など、その辺に寄与するものだと考えておりますが、いかんせんまだこの場でそういう情報を得たものですから、調査研究などをしていながら、検討していきたいと思えます。よろしく願います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

8番 亀里敏郎委員。

○ 8番 亀里敏郎委員

少し金もかかるようですので、すぐとはいきませんが、老人クラブの皆様からは年度内にできないかという、強い要望もあるのは間違いございません。そして私、先ほど大きなギャップと諸課題と言いましたけれども、この諸課題というのが、実は練習はできるらしいです。しかし、練習に行くときには、皆さん、年寄りの方は車がない方、そして歩行にも支障のある方はどうしても、ほかの仲間の車で行かなければいけない、練習にですね。練習に行ったとしても、わずか30分ぐらいしかできないらしいです。そういうことで、全くコミュニケーションがとれないと。各字にもそういう人工芝のコートがあるんだったら、コミュニケーションもわくし、そして、この実際の大会に望んでも、実力が発揮できるので、ぜひこれは皆さん、敏郎委員ももう74歳で後期高齢でしょうと。そして委員の皆さんもすぐその日が来ますよということで、これはどうしても実現させなければいけないなど、私心に誓ってあるんですけど、村長いかがでしょうかね。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋 秀 幸 君

ゲートボールのこの老人クラブの活動の中で果たす役割は、皆さんと同じように大きなものがあると思っております。そういう中で現状の多目的屋内運動場における大会等も私も毎回ご案内を受けて、参加をして応援もしておりますが、やはりこの多目的運動場による人工芝ですか。その辺の部分の取り扱いに苦慮しているという部分も感じられて、各区においてもずっと屋内運動場で練習されているチームと、各区において、天然芝のほうでされているチームとの差も結構あるのかという部分は、個人的にも理解をしております。今後各区から要望があるという部分であれば、前向きに検討していきたいと思っておりますが、1点、2点、課題点もあろうかと思っておりますので、その辺の部分、この多目的屋内運動場と同じような芝がこう露地になるんですか。そういう中で、張っていったときに、うまく活用できるのか。あるいは費用的な部分も全然、白紙ですので、どういったぐらいの費用になるのか。その辺も考えながら検討はしていきたいと思っておりますが、工事的な費用の部分がそんなにかからないのであれば、希望する区においては、1面の部分を一緒に工事の可能性が高いと思っておりますが、費用的な部分があれば、8行政区の中で半分のほうを初年度、次に次年度とかという部分の整備の仕方も、方法もあるのかと思っておりますが、いずれにしても、平成29年度の中で事業も活用も含めながら、できるだけこういう老人クラブの皆さんの生きがいづくりであるゲートボールのそういう部分の要望ですので、応えるように頑張っていきたいと思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

8番 亀里敏郎委員。

○ 8番 亀 里 敏 郎 委員

費用の件なんですけれども、調べたら多目的屋内運動場の総面積を6面で割ると、1面1,450万円、普通の値段ですね、この請け負った方からやると、1面1,450万円かかるらしいです。ただしあの面積を6面で割っていないんですよ。実際の各区にあるコートというのは、この半分弱だと思います。そして屋内運動場人工芝の部分で、8,700万円とっています。これを単純に6で割ったのが1,450万円らしいです。だから恐らく、この半分では、区のコートでしたら、その半分以下の予算では張りかえが可能だということは言っていましたけれども、その辺のところはよくわかりませんが、半端な予算ではないということは、間違いありません。ただし、これをすることによって、先ほど課長からもありましたけれども、今まで頑張ってきた老人クラブの皆様、我々若いのが、皆さん若いのが貢献するのもいいことだと思いますので、ぜひ皆さんの希望を果たしていただくよう、皆さんで努力をしていただいて、ぜひ老人クラブを満足させていただくことを願って、質疑を終わります。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

老人クラブの役員の皆さん、事務局を預かっている社会福祉協議会、そして老人の福祉を担当している福祉課、そして事業の面からいいますと、政策調整室、その辺の中で協議をさせながら、特に各区の老人クラブの皆さんと、綿密にこう意見を聞きながら、その辺の調整をしながら今後の整備に備えていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

30ページの3目保育所費の7節賃金について、伺います。現在、保育所の職員は正職員とそれから臨時職員の比率はどうなっていますか。人数。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

福祉課長 亀里裕治君。

○ 福祉課長 亀里裕治君

臨時職員と正職員の比率といますか。比率では、報告できないんですが、人数で報告させていただきます。まず中央保育所で職員数8名で、臨時職員で12名という比率になっております。それから東保育所で、職員数9名、臨時職員が15.5名という数字になっております。

○ 委員長 渡久地政雄君

休憩します。

(休憩時刻15時00分)

再開します。

(再開時刻15時00分)

福祉課長 亀里裕治君。

○ 福祉課長 亀里裕治君

申しわけありません。両保育所の所長がカウントされてなくて、2人追加になります。

中央保育所が9名です。そして東保育所で職員が10名になります。

○ 委員長 渡久地政雄君

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名嘉 實委員

正職員に比べて、臨時職員のほうが圧倒的に多いんですが、そのうち有資格者は臨時職員のうち、有資格者はいますか。

○ 委員長 渡久地政雄君

福祉課長 亀里裕治君。

○ 福祉課長 亀里裕治君

はい、ございます。有資格者で中央保育所で1名、東保育所で3.5名とカウントしております。

○ 委員長 渡久地政雄君

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名嘉 實委員

有資格者は3.5名という意味がわかりませんが、短時間働いても1人を半分にすることはできませんが、これについては後でまた答弁してほしいんですが。

有資格者については、正職員になるようにすべきだと思いますが、そういう考えはありませんか。

○ 委員長 渡久地政雄君

福祉課長 亀里裕治君。

○ 福祉課長 亀里裕治君

現在、働いておられます有資格者は、保育所OBの方、保育所を退職された方、OBの方を活用して、カウントしているんですが、有資格者の中に採用年齢の適齢年齢者が今のところいないので、そういうカウントにしておりますが、もしそういう適齢年齢の方が有資格者に出てくると、職員にしていくような、あるいはそれと同等な待遇で迎えるような方法は、検討してまいりたいと考えております。

それから0.5名の件については、半日パートという格好で、就労しているものですから、そういうカウントにしております。

○ 委員長 渡久地政雄君

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名嘉 實委員

他の自治体では、保育所、保育士の確保のために、資格を取るための支援制度というものもあるそうですが、

できる限り正職員にして、保育士の質の向上も図るということが必要だと思いますが、どうでしょうか。そういう臨時職員の無資格の臨時職員を有資格者にして、待遇改善もするという考えはありませんか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

福祉課長 亀里裕治君。

○ 福祉課長 亀 里 裕 治 君

名嘉委員の臨時職員の方を有資格者にするような制度と申しますか、その辺もどういふのがあるのか検討をしていながら、考えていきたいとは思っているんですが、今現在、情報によりますと、事務職で働いているうち、1名が資格を取るような制度を使って、通信教育か何かはちょっとまだ調べてはないんですが、そういうふうに向かっているというのは、お聞きしております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

福祉課長からの職員のこの正職員、臨時職員の人数を聞いて、臨時職員の中で有資格者、要するに採用対象者がいないということではありますが、名嘉委員のこの要請については、村としても、今後必要性は感じております。保育士だけではなくて、診療所の看護師あるいはそういう医療従事者、特に伊江村の船舶の中では、そういう国家資格を取った職員を優先的にこれまで採用をしてきておりますので、そういう中で、保育所においても、保育現場で働きながら、そういう保育士の資格を頑張って取った職員については、今後その辺の採用の道が開かれるような、そういうような態勢づくりは、今後必要かと思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

2番 島袋 勉委員。

○ 2番 島 袋 勉 委員

歳出31ページ、13節の委託料の104、保育所砂場検査委託料、保育所等に関しては、砂場の検査委託料が計上されております。そして今現在、ミースイ公園、大きな遊具ができております。多分、その周辺が砂場になるんですかね。ではない。それも含めて、各公園、村内の各公園等に砂場があるんですが、区等でのそういった検査の委託等はできない状況下であります。しかしながら、そういった場所で、やはり3歳、4歳、2歳から、3歳、4歳ぐらいのお子さんが、よく遊ばれている状況下ではあります。できれば、この細節になるかどうかはわからないんですが、そういった砂場の検査に関しては、保育所等ではなく、ほかの子どもが遊ぶ砂場等に関しても、検査できないかどうか。お伺いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

商工観光課長 万寿祥久君。

○ 商工観光課長 万 寿 祥 久 君

こちらの細節のとおり、保育所で実施している砂場検査を村内にある公園施設の砂場でできないかという御質疑だと思いますが、ミースイ公園につきましては、現在整備工事を行っております。当時ございました砂場のほうは、今度は設置をしないという形で、今工事を進めているところでございますが、その他の村内にございます砂場につきましても、今の現状の利用状況等を確認して、まずその必要があるかどうかということ踏まえて、今後検討していきたいと思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

2番 島袋 勉委員。

○ 2番 島 袋 勉 委員

広報等では、犬に関しては、鎖をきれいにやって、外での野放しにするなど、十分周知されておりますが、

猫等に関しては、そういった周知がなく、また法令で猫等に関する野放しに対する対策は十分ではない状況下であります。

近年、伊江村では、野良猫が増えつつある状況下でありまして、あちこちでその猫が道路に座って、本当に動かないと。逆に交通事故になりそうで困っているという状況下も聞いております。その猫が公園の砂場で、ふんとか小便等をやっているのが見えるんだけど、子どもを遊ばすのに関して不安があると。そういう話も多々聞こえるところもあります。衛生面からしても、せつかく公園に砂場を設置しても、そういう状況下で子どもをいざ、砂場で遊ばすかという、衛生面を考えると、親とすると不安なところも多々あると思います。猫等が、これだけ増えて、そういった衛生面等も考えると、公共の施設内での砂場に関しては、検査をしていただいて、安全面も含めて、検討してほしいと思います。平成29年度でこれは予算措置は今はないんですが、ぜひ前向きに検討できないですか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

商工観光課長 万寿祥久君。

○ 商工観光課長 万 寿 祥 久 君

議員、お説のとおり、公園を利用するお子さま、ましてや御家族に対しては、やはり安全で安心に子どもを遊ばせることが第一だという認識は共通するものかと思えます。去った議会におきましても、砂場のミースイ公園のことについて、私御答弁させていただいた記憶がございます。そのときに、県の保健所のほうに確認をいたしました。こういう公共施設で、そういった検査をするところということで、業者を紹介していただきまして、これは保育所で実施されている委託業者と同じなのかと思えますが、今現状を各自治体でそういった定期的な検査を実施されていますかということで、お伺いしたこともございます。一時、これは社会問題にもなったかという記憶に新しいかどうか、わからないですけれども、以前にこういった砂場の環境問題というのは、社会問題にもなった事例でございまして、その辺の状況をお伺いしたところ、昨今はあまり自治体からの検査依頼はございませんと、業者のほうから、そういう情報をいただきまして、その理由の背景としては、これもお伺いした話なんです、やはり衛生面に配慮して、検査をすれば全て安全ということとはなかなか言い切れない自治体が多いという現状の中で、公園から砂場が減ってきているというような背景もあるというお話もお伺いしました。

それに砂場というのは、やはり子どもの遊び場として、なくてはならないのかなという個人的な認識を持っておりますので、衛生面に配慮をして安全で子どもたちが楽しく遊べるような施設管理というものが、どういうふうにできるかどうか。十分検討をして、予算措置につきましても、検討させていただきたいと思えます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

3款項目民生費、質疑ございませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。4款衛生費。34ページから43ページ。3番 山城善彦委員。

○ 3番 山 城 善 彦 委員

歳出34ページ、18節備品購入費に関連いたしまして、平成28年度、歯科医院の歯科用ユニットですか。それが2,800万円で3台の購入だったんですが、それについてであります、話をお聞きしましたら、今まで歯科医院へ納入されていたメーカーさんがおまして、その現場の中では、そのメーカーのものが使い勝手がいいという形で、話をしていたらしいんですが、やはり入札が基本だということで、仕様書をつくっていく中で、現場と保健課の中で何といたしますか、調整がうまくいかなかったといいですか。実際これを納入されたんですが、現場のほうでは初めて機械で、使い勝手が悪いとは言わないんですが、不慣れなものですから使にくいということがあったらしいんです。

やはり入札のいろいろな条件の中では、アフタケアについては、うたわれているということで、その業者へぜひ設置した後に、設置はしてすぐまたいろいろとこう説明しながら、「来ます」という話だったらしいんですけども、結構長い間、こっちから要請をしても、「忙しい」とか何とか言って、来なかったということがあったらしいです。その間、結構こう現場ではいろいろと運営に支障を来たしたといえますか。そういうことがあったらしいんですけども、それについて、課長これ承知していますか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

医療保健課長 大城 強君。

○ 医療保健課長 大 城 強 君

平成28年度の歯科用ユニット購入に関して、契約した業者と契約の際に、やはり「離島です」という中で、修理とか、メンテについては、対応を迅速にしてくださいというお願いはしました。今おっしゃるように、パノラマCT装置と歯科用ユニットとかあるんですけども、ユニットにつきましては、おっしゃるように、私も職員のほうからもありました。直接、今取り交わしている覚書は定期検査というんですか。定期点検のことで結んでおります。その中でも先ほど言ったように「離島です」ということで、「対応をすぐお願いします」という中で、今対応が遅れたというのは、やはり連絡をしたときに、直接メーカーの機材を入れたメーカー、落札した業者がいます。この業者が取り扱っているメーカーがいます。そのメーカーとのまた定期点検と、この定期点検については、そういうことで、いま覚書をしていますけれども、そのメーカーのほうの対応がぎっくり腰といえますか、そういうのをやっていて、すぐにできなかったということで、おっしゃるように、すぐ対応ができなかったということを知って、先週でしたか、この契約をしている方に、そういったことを当初で、離島であるので、メンテナンスのことについては、もう少し気を配ってほしいと。皆さんからもこちらからの数値だけではなくて、皆さんのほうも「機械の具合はどうか」というようなことも心遣いをしてほしいということは、ちょうど先週来ていましたので、申し入れてあります。今後ともそういったことがないように、再度、受注者のほうに申し入れていきたいと思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

3番 山城善彦委員。

○ 3番 山 城 善 彦 委 員

承知いただいているということであれなんです、話を聞いたら、こう最終的に、職員のほうにこういろいろとこうですよという話をしたらいいんですけども、それがどうもうまくかみ合わなかったということで、屋宜先生が直接、もう業者に言ったという話をされておりました。「こういうことをやる、やはり義務がありますでしょう」という形で強く言ったらいいんですけども、その後に実際に来られて、そういう話があったらしいんですけども、やはりそういう医療現場では、そういったことは絶対にあってはいけないことだと思います。ですから、今回は関連して質疑をしましたが、やはり今回、18節には、今度また医療資器材購入事業が計上されていますよね。その中でこれだけ大きな予算をかけて実際にやるわけですから、何といえますか。やはり業者選定もよく聞くと、あまり評判がよくない業者らしいんですよ。今回ですね。という話もありますので、やはり入札業者を選定するときも、相当こう前もって、いろいろと調査をして、ただこう頭数をそろえればいんじゃないという形で、そこまで踏み込んでやっていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

医療保健課長 大城 強君。

○ 医療保健課長 大 城 強 君

委員の御指摘がありますように、今年もまた平成29年度の中で医療器材を備品購入として予定しております。

す。それにつきましても、今おっしゃるように、器材購入につきましても、こちらのほうで仕様書等を見積もり、入札にかけては業者選定も、そういった仕様書に基づいて選定しておりますので、情報も得て、今後については取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

3番 山城善彦委員。

○ 3番 山 城 善 彦 委員

ぜひ、そのように取り組んでいただきたいと思いますが、やはり一番大事なのは、現場の声を聞くというのも大事だと思いますので、現場のほうとも調整をして、また現場のほうがそういうメーカーとか、業者等とか詳しいと思います。そういったところも一緒になってやってもらって、今後こういうことがないように、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。これについて、村長、御存じでしたら、よろしくお願ひします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

山城委員がこの述べられた事案については、私は済みませんが、把握をしております。おっしゃるとおり、やはり機械を入れて、効率的に効果的に運用して行って、そういう営業、そういう事業に役立てていくというのが一番の基本ですので、そういう中では、おっしゃるとおり機種を選定から、業者を選定、そして入札をして後のこのアフターサービス、その辺の部分がしっかりとできるような業者を選定して、今後そういう事業の執行に当たっていくというのが基本です。今後そういう感じでやっていきたいと思ひますし、最後におっしゃられたこの器具を入れて、活用して、利用して、事業される。営業される現場の皆さんの声も聞きながら、今後そういう器材の購入には慎重を期しながら当たってまいりたいと思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

4款、ほかに質疑ございませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。5款労働費。〔「質疑なし」の声あり〕

進行いたします。6款農林水産業費、45ページから61ページまで。

9番 知念一邦委員。

○ 9番 知 念 一 邦 委員

歳出51ページ、19節負担金補助金及び交付金、細節117. 繁殖雌牛育種改良造成保留事業について、再度詳しく説明をお願いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知 念 吉 久 君

繁殖雌牛育種改良造成保留事業、自家保留への補助でございますが、平成28年度でも村長の方針として、そういった保留に対する補助をしていきたいということで計画をしておりました。これも一括交付金での事業構築ができないかということで計画をしていたんですが、その事業構築が現在、県の事業で。国の事業でしたか、そういう事業があるということで一括交付金では、採択できませんでした。それをもって、平成29年度において、その保留事業を村単費で実施したいということでの予算措置でございます。1頭当たり保留に対して8万円、それとこれまでに2年ほど前までですか。県のほうで実施されていた、そういった保留事業の実績を踏まえると、年間50頭ぐらいが、そういった事業に該当されていたということで、今回の計画としては50頭、計400万円を今回予定しているところでございます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

9番 知念一邦委員。

○ 9番 知 念 一 邦 委 員

一括交付金での予定だったんですが、ダブるということできない。今回は村単独でということですが、昨今牛の値段がおかげさまで高くなって、今下段にあります1253。優良繁殖雌牛導入事業、それとの兼ね合いも少しあるんですが、1頭当たり40万円になったというのも今、いい牛を買おうとすると、系統をそろえようとすると、100万円超という時代に入ってきている。そのために10万円の増と思われま。そういうことで、やはり自己負担も多くなるわけで、今回のこの自家保留を進めていくという中で、やはりこれから系統を選定し、それに合った牛を残すと、農家に支援できるような金額的にもできるような自家保留制度を推進していただきたいというのが、お願いなんです、どんなでしょうか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知 念 吉 久 君

金額的には1頭当たり8万円ということで、繁殖雌牛導入事業の上限40万円に対して、少し安いような、そういう感覚がというふうにも、こちらでもその1頭当たりの値段に関しては、これまでの県の事業なども踏まえた金額といえますか、それで検討はしてきたところでございます。確かにその金額が妥当な金額なのかについては、1頭当たりの飼育、年間の飼育経費とか、その辺のものを勘案しながらの県の事業、そういう形での設定になっているように伺っております、その辺を勘案して出した金額ではございます。今後、さらに研究をしながら、今年度実施をしていながら、その辺も今後の検討材料にできればと思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

9番 知念一邦委員。

○ 9番 知 念 一 邦 委 員

これからまたさらに検討したいということで、やはり雌牛、外部から導入した場合のこの導入したときの単価がやはり高く、裏負担、自己負担も相当なもので、やはり控える農家も出るんじゃないかという気がして、こういうせっかくいい事業を導入していただいているものですから、これをどんどん活用して、母牛を残せるような体制にしていきたいと思います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

伊江村の優良、銘柄牛をつくっていくという中で、村外からの優良雌牛を導入して、その子牛を生産して出荷する。あるいは自家保留するというのと、もう一つはやはり自家保留をして、村内で生まれた優良の雌、子牛を保留して、両方でそういう伊江村の伊江島牛のブランド確立に資していくという中で、私としては、ずっと去年ぐらいから自家保留、県外からの優良雌牛の導入とあわせて、自家保留の牛にも助成をして、多くの優良雌子牛が島で保留できるような部分ということで、一括交付金で平成28年度調整をさせてまいりましたが、残念ながらそういう事業ではできないということで、今年度村単独事業で計上をしているところがあります。知念委員がおっしゃるとおり、せっかく構築した事業ですので、農家の意見も聞きながら、より今後、有効的に効率的に適切に事業運営をして、その事業の目的であります自家保留の牛を多くして、島の優良雌牛の確立に寄与して、なおかつ足腰の強い畜産業の振興、そして競りでの高値、その辺の部分につなげるように生産者、和牛改良組合そしてJAと伊江村で協議をしながら、有効適切にこの事業が運用できるように取り組んでまいりたいと思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

1 番 島袋義範委員。

○ 1 番 島 袋 義 範 委員

51ページ、108. 全共進推対策補助金50万円が計上されておりますけれども、現在の今審査が行われていると思うんですけれども、出品が可能なのか。この現在の審査の状況をお伺いします。1点目。

それと以前にも私、一般質問とかで言いましたけれども、この出品者の負担ですよ。魅力のあるこの出品者が選ばれたから、大変になったと。迷惑がかかるという負担ではなくて、出すからには、それなりの村からも報償金も出していただきたいということも以前にも申し上げましたけれども、今回出るとなると、また補正で対応すると説明ございましたけれども、ぜひこの出品者の農家の皆さんの負担にならないように、そして畜産農家がぜひ私も頑張っただけは出してみたいと思えるような、この報償金を出すのが建前ではないかと思えます。これは伊江島牛を売るのであって、個人の何々さんの名前を売るわけではないわけです。伊江島牛をピーアールしに行く、伊江島の代表として伊江島牛をピーアールしに行くわけですので、それなりの出品者が負担に重荷にならないような、魅力あるものにぜひしていただきたいと。県のほうも何かみみっちいらしいんですけれども、村としてぜひそういうのもお願いしたいと思っておりますけれども、どう思いますか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知 念 吉 久 君

全共に向けた審査の状況でございますが、審査につきましては、現在第5区繁殖雌牛群での出場を目指して検討しているところでございまして、その審査該当の牛の出品候補の測定、予備審査を去った2月23日に行っております。その中で本来ですと6頭をそろえて、そのうちから4頭を出品するような形でございまして、その段階で5頭しかいなくて、5頭を予備審査したわけなんですけれども、その中でも基準である体高ですか。そのほうが、もう基準を上回っていて3頭がだめだということで2頭が残っております、それではもう出品ができないものですから、さらにこの候補牛を現在、調べているとそういう状況でございます。その資格のものを補欠牛を含めて、さらに審査を今月3月21日に再審査を行う予定になっております。

それが終わって、地域ごとの1次選考会というものを4月に行い、県の最終選考会が7月に行われる予定になっております。ということで、この候補牛の選定、測定までに今月3月21日で、ほぼこの候補にできる牛が島の候補牛がそろそろという形になりますけれども、現時点でなかなかその基準に合った牛をそろえるのが厳しいような状況であるということは伺っておりますが、3月21日はもうすぐそこですので、それまでの結果を見て、大体方向がわかってくるのかと現段階ではそのような状況でございます。

さらに委員が常々、その全共に向けた取り組みの中で、出品者に対する報償費等をしっかりとやってもらいたいということに関しましては、こちらのほうでも出品が決まった段階におきましては、その県から出る報償費を合わせて、村で上乗せする数字もしっかりとそれに見合う形で方向を考えていきたいと思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

1 番 島袋義範委員。

○ 1 番 島 袋 義 範 委員

今のところ、我々も私個人的には、伊江島は常々、これまで何回か出品していますので、当然出るんだろうなという安易な気持ちになっていましたけれども、今度は群での参加ということで、4頭以上なのかな。その後、輸送費なども相当なものになるはずと思っております、県はそれに対して全額補助ができるのか。またそれに対して村は負担しないといけないのかと。その辺、内容を少し知りたいと思っておりますけれども。

それと先ほど申し上げましたとおり、念願かなって出品の最後は、やはり出品農家の負担にならないように、十分な手当をして、これまでは少なかったんです。聞こえるのが「あれに選ばれたら、もう大変だよ」と、「ティマダーリ、シュンディヤー」ということしか聞こえなかったもので、その辺を十分理解をしていただきたいと思います。県からの補助の件でお伺いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知 念 吉 久 君

出品が決定した折には、その出品牛に対する輸送費とか、それに係る必要な人数の旅費とか、それらについては、県からの予算で賄われると認識しておりますが、それがどこまで何名までというところまでは、まだ詳しい話は聞いておりません。確かに村が負担する部分も例年、前回1頭単位での出品に比べると負担は増えてくるのかと思っております。

さらにこの群での決定になりますと、農家もそれだけ増えますので、それらに関する負担といたしますか。報償費等含めたものについても、金額的には大分増えてくるかと思っておりますが、その辺については、村もしっかりと検討をして賄えるようにしていきたいと考えております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

私がこれまで聞いた中では、沖縄県の改良協会の赤嶺局長の話では、先ほどうちの農林課長が言ったように、その雌牛群ですか。それが非常に有望であるという部分で、私もその中で選ばれていこうという部分で安堵をしておりましたが、今のうちの農林課長の答弁を聞いて、また沖縄県、あるいは改良協会、あるいはJA、そして村の改良組合等々と、もっと連携を密にして、伊江村から全共に出品牛ができるような体制を今後また取り組みを強化していかないといけないのかと思っております。

そしてその出品として選ばれた畜舎の皆さんに対する考え方、その辺は全く島袋委員と同じですので、今後この関係機関、あるいは農家の皆さんとも十分に担当課として調整をさせながら、農家の皆さんが本当に胸を張って、名誉ですから、それとあわせてそういう部分で、この大会に臨んでいけるようなそういう負担軽減も図りながら、この全共に向けて取り組んでいきたいと思っておりますので、出品牛として選ばれることを皆さんとともに期待をしながら、そういうことになれば、また補正予算をお願いをしたいと思っておりますので、ぜひよろしくをお願いしたいと思います。一緒に取り組んでいければと思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

2番 島袋 勉委員。

○ 2番 島 袋 勉 委員

歳出の47、48ページの細節の1319、伊江村アジア野菜導入事業に関連して質疑します。去った2月22、23日に、議会の議員研修で南部のほうに行きまして、その際佐敷のほうでアジア野菜の栽培されているところを視察してまいりました。その施設ではバジルだったと思います。その栽培を見たんですが、栽培をされている状況下としてはいい栽培ができていたんですが、その中で病気、ちょっと忘れてしまっているんですが、カビ病ですね。菌関係の病気が入ると、結局これが商品価値がなくなって、出荷できないと。結局そのハウス1棟でその病気が入ると出荷できるような状況下ではなくて、そのハウスはそのまま出荷できなくなると。そういう話も聞きました。

伊江村においても、バジル等の導入も、長い導入の中には参考程度ですが入っていました。それも含めて、これは提言なんです、私たち伊江村には、県の農業改良普及員がおります。本当にそういった市町村で普

及員がいるというのは、他の市町村では少ない村だと思います。できたら、私たちが導入するアジア野菜の栽培試験等を、県の農業試験場で導入する野菜に関して、試験栽培をしていただいて、できるだけそこで優良な品種といいますか、そういったものを選抜できるように要請をして、いい種苗、いい苗を系統選抜するように、県に対して働きかけをして、島に導入する際には、試験場から優良な苗を補給していただいて、系統選抜した病気に強いものを導入できるように、県に対して要望できないかどうか。お伺いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知 念 吉 久 君

確かにアジア野菜は、当初病気には強いものだというので、認識をしながら入っていつているわけですが、確かに病気もいろいろとあるようでございまして、それらに対応できる品種、系統というものについては、しっかりと試験場あたりとも連携をしながらやっていきたいと思っておりますが、当初から栽培もなようなものを導入してやる計画でおりましたので、種苗についても、直接現地からちゃんとしたところを通した種を導入して、それから苗をつくって栽培をしていくと。そういう流れの中での計画でありますので、その辺のものについても、試験場や普及員、普及所を通して、実際にその種、種苗が確かなものであるというものを一緒に確認しながら、栽培、試験もお願いもいたしますし、こちらのほうでも、しっかりとその辺のものを見極められるような試験栽培を一緒にやっていきたいと思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

2番 島袋 勉委員。

○ 2番 島 袋 勉 委員

ぜひせっかく普及員がおりますので、相談をされて、県のほうも活用、大きな試験場を持っておられる沖縄県ですので、その辺も十分活用されてほしいと思います。

それと平成28年度の計画では、2月の時点でハウスにそのアジア野菜が入って、そこでその栽培をやりたい農家を募集して、それから平成29年度に入っていくという当初の予定でした。しかしながら遅れて、平成28年度ではまだこの前、視察した段階でもそのアジア野菜は入っていないんですが、平成29年度にそれが持ち越しになると思いますが、その野菜の栽培を希望される方に対して、平成29年度はほかの産地の視察研修等も予定されているのかどうか、お伺いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知 念 吉 久 君

委員お説のとおり、今年度平成28年度は2月にはその栽培試験、ハウスの中で行う予定で進めてまいりました。若干、そのハウスの進捗が遅れたこと、それと苗の準備がうまくできなかったことなどがありまして、若干遅れております。年度内には、3月いっぱいには、それを苗の定植をして、試験栽培に入っていく予定にはしております。それを継続、平成29年度でも継続をしながら、ほかの新たな品種も交えて露地、またはハウスでもさらに栽培試験を行っていく予定でございまして。その中でその他地域の栽培状況なども踏まえた研究はやる予定になっておりますが、村独自のこの予算の中には反映ではなくて、それらのその研究計画の中で委託の業務の中で、それらも実施するような予定での委託費を考えております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

2番 島袋 勉委員。

○ 2番 島 袋 勉 委員

わかりづらいんですが、できるだけ新しい品種になります。それを取り組みをされて、やりたいという農

家のほうも、最初の品種であって、本当に心配だと思います。できる限り、そういった農家の希望を率直にとって、ほかの産地を見たいという状況下であれば、そういった産地、本島のほうに行けば、いまは大分出てきておりますので、先進地の視察研修をしながら、こういった課題があるか。こういったふうに栽培をやっているかというのが、机の上で文書を見るよりも、やはりその現場に行って視察をして見てくるのが、農家というのは一番、技術面では一番重要なことだと思いますので、できる限り、先進地の視察研修も取り入れて、いい品物ができるように努力していただきたいと思います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知 念 吉 久 君

島袋委員からの提言のとおり、近隣といいますか、県内のそういった先進的に栽培されている箇所等は研究をして、それらを一緒に見ながら、課題等も整理しながら、試験栽培に当たっていくようにしたいと思います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

暫時休憩します。

(休憩時刻15時53分)

再開します。

(再開時刻16時06分)

6款農林水産業費。11番 内田竹保委員。

○ 11番 内 田 竹 保 委員

去年の12月の定例会で一般質問をいたしましたラウンダー（牛運動機器）整備費、早速予算化をしていただきまして、大変ありがとうございます。お礼を申し上げます。

それから農林水産業費の中の林業振興費に関連して質問いたしますが、去った3月3日に、防風林の日で、植樹をしました。ことしからリュウキュウコクタンが植樹されていないんです。植えつけする前に林業指導員の方が、リュウキュウコクタンを今回はしないということで、植えつけ方法の説明の中でありましたけれども、この樹木選定に当たってなぜこのクルチを外したのか、伺います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知 念 吉 久 君

村の植樹祭、植樹大会を去った3月3日に開催いたしました第3回目でございます。今回は西江上区の区有地で、区有地に植栽をしておりますが、その際、植樹の樹種等については、こちらの林業普及指導員も含めて、その樹種の選定を行いました。その中で、この樹木をこちらで養成している、村の苗畑で養成している樹木を含めて、それとその配列等を検討していく中で、クロキが必要ないというのは、語弊があるかと思いますが、この配列の中において、その必要がなかったと申しますか、そういうような状況での樹種選定になっております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

11番 内田竹保委員。

○ 11番 内 田 竹 保 委員

御承知のとおり、リュウキュウコクタンは台風にも強いし、塩害にも全く被害が出ないということで、この前の植樹場所も北海岸からの塩害は必ずあると思っておりますけれども、配列の関係だということなんです。二、三日前の現場視察のときも北並里から、今度新しく植樹コクタンですよ、琉球ウルチですよ。そういったことから考えても、配列のみなのか。リュウキュウコクタンは大事な木だと思いますけれども、この木が100年後あたりに、また民俗芸能で使うサンシンの原材料にもなるのではないかという考え方があ

るものですから、今後において、このコクタンの植樹を外すというのは、私はいかかなものかと思いますが、配列が仕方がないということになれば、そうなのかなと思うんですが、このコクタンを大事にさせていただいて、来年あたりにまた復活させるような方法で、これはまた苗畑で育てているわけです。普及品目といたらおかしいんですが、やはり大事な木だと思いますので、来年あたりからまたこれを復活させていただきたいという要望を申し上げて終わります。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知 念 吉 久 君

これまでの植樹におきましても、このリュウキュウコクタンは一番利用してきておりますし、今回予定しております馬場並里線の植栽、それにもそのリュウキュウコクタンで、並木街路樹を整備するという事でメインに考えている樹種でございますので、今後の植樹計画の中にもしっかりとその辺も反映できるような樹木の選定をしながら、植栽に当たっていきたいと思います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

8番 亀里敏郎委員。

○ 8番 亀 里 敏 郎 委員

58ページの13節委託料の細節109. 子どもの森広場清掃等業務委託料の業務の内容について、お伺いします。

それと細節1371. 伊江島ハイビスカス園整備事業で、既存の今ある施設は、何年の供用だったか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知 念 吉 久 君

細節109. 子どもの森広場清掃等業務委託料の件は、子どもの森の草刈り、芝刈り、樹木などの植栽、剪定などの作業を、年間を通して委託する業務でございます。

それと細節1371. 伊江島ハイビスカス園の供用開始の年度については、確実な年度が、今資料として持っておりませんので、申しわけございます。後ほど正確な年度について、お答えさせていただきたいと思えます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

8番 亀里敏郎委員。

○ 8番 亀 里 敏 郎 委員

この109. については、カントリークラブへの委託ですよ。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知 念 吉 久 君

説明の中では、「カントリークラブへ受託しています」という形で、説明をしたかと思えます。去年も平成28年度も伊江カントリーへ委託をしております。平成29年度におきましては、今の状況を踏まえて、どこへ委託するか、そのようなものについては、これから検討していきたいと思っております。平成28年度につきましては、伊江島カントリーに委託したところでございます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

8番 亀里敏郎委員。

○ 8番 亀 里 敏 郎 委員

109. については、慎重に対応していただきたいと思います。そして1371. については、きのう委員長のほうからも少し御指摘がありましたけれども、恐らく北部振興事業の補助金2,600万円ですか。これで事業をされると思いますけれども、きのうの委員長の渡久地議員の質疑に対する答弁では、「増築とか、そういうものはしない」ということなんです。私はしかりだと思えます。私が今言いたいのは、なぜ供用開始年月日を知りたいというのは、この供用が始まってから、2、3年はすばらしく内容が濃かったです。園内入っても咲き誇っていました。近年、ハイビスカスがまばらなんです。撮影するところだけプランターみたいなのを置いて、写真撮影のための園になっているのは事実です。これ散策をして、ハイビスカス園内を鑑賞するということには至っておりません。そこで幸い、きのうから広報で流れていますけど、従業員の採用ですか。そういうことがありますと、私は施設の拡充よりは、苗木を花を見せるのが目的ですから、決してすばらしい施設を見せるのが園ではないと、私は思います。中身を見せる。だから見せるには、開園当時のあのすばらしいハイビスカス園にしなければ、私はいけないと思います。するにはやはり特殊な人材が必要だと思えますけれども、現在の職員の技量でよろしいのでしょうか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知 念 吉 久 君

この施設の充実という形での改修といいますか。整備工事をしたいということで、今考えているところでございますが、ハイビスカスを育てる人の力も当然必要ですし、その力、技術がなければ、いくらい施設ができて、そういう形にはできないと認識しております。現在のあたっている皆さんも、一生懸命やっているところでございますが、人が出たり、入ったりということで、うまく毎年、思うようにその栽培が順調にいけない部分は確かにあるかと思っております。今後につきましても今回、募集しておりますように、従業員の研修等もさらに強化して、技術員の育成にも努めながらその整備に当たっていきたいと思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

8番 亀里敏郎委員。

○ 8番 亀 里 敏 郎 委 員

課長も何度かまつり等がありますから、行っていると思えますけれども、私どもは民泊で必ず行きますので、日々見ていて、本当に悲しくなるときがいっぱいなんです。露地では咲き誇っているハイビスカスが、肝心なハイビスカス園に行くと、まばらということで、少し悲しいといひましようか。そういう心になります。ということで、ぜひ供用間もないころの、あのハイビスカス園にしなければいけないと思えます。

そして冒頭で課長が申し上げておりましたけれども、入場料を取っても恥ずかしくないハイビスカス園をつくるんだという、すばらしいまた気概だと思います。そういう気概をもって、このハイビスカス園のこれからの施設運営については、いま一度、従来の考え方を少し置いて、新しくこの花を見せる。決して施設を見せるのではないという、そういう発想になっていただかなければ、私はせっかくの今、知名度ありますよね。伊江島のハイビスカス園といいますと。この知名度がこのままでは何か、地に落ちるような気がして、老婆心かしりませんけれども、そういう思いがしていたし方ないんですけれども、今後の展開として、今後の展望として、ハイビスカス園の展望として、いま一度お答えいただけますか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

農林課長からも今の現状、そして今後についても答弁がありました、まずはこの北部連携促進事業で、

このハイビスカスの改修といいますか、園の整備という構築したという部分の背景としては、亀里委員がおっしゃる「そのまま」でございます。やはり当初、つくって非常によくハイビスカスの栽培も、花もよく咲いていましたが、いかんせん土の部分とか、その辺もあってここで同じようにやっていくと、なかなかうまくハイビスカスの樹木が伸びないし、花もなかなか厳しいという部分で、鉢植えとか、その辺の部分で現場では苦勞しながらここまで来ました。今回の事業の前段として、コンサルにそのハイビスカス園のディスプレイといいますか。見せ方、あるいはこのハイビスカスを育てる方法、その辺の部分の既に村として委託をして、その辺の部分の改修の計画も既にもらっているわけです。その辺を受けて、今回、北部振興事業で実施設計をして、その後、事業化に取り組んでいくという部分の背景段階があってここまで来ていますが、基本的にはやはりそのハイビスカス園では、すばらしいハイビスカスを見せるというのが一番ですので、それを基本になおかつ、今回提案を受けた策定の中では若干、こう休憩とか、この辺で若干、休めるような施設もやりながら、なおかつハイビスカスを楽しんでもらう。魅力ある園にしていくという部分の提案でありますので、そこも基本計画みたいのがありますが、そこを踏まえながら、この事業でこの実施設計等をして、今後整備をしていきたいということですので、基本はそういうことで施設の拡充を図りながら、なおかつ先ほど農林課長が言ったように、人的部分の養成も必要ですので、これまではこの園の中で日ごろの業務をしながら、自然に技術者が育ってきた背景がありますが、今の現状ではなかなか厳しい部分もありますので、今後は技術的に、何カ月かの長期研修で、そういうまずは1人の専門技術者を育成して、その後にもまた技術者を育成していくような方法も、今後は必要かなと思っております、そのためには村費での県外、その辺のところの長期、2、3カ月の研修を踏まえまして、そういう専門的なハイビスカスの技術者を育てて、また島にいる若い皆さんも育成しながら、なおかつ施設も拡充しながら、全体的なハイビスカス園の施設、充実そして観光施設として、さらに多くの皆さんが訪れるような施設にしていきたいと思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

8番 亀里敏郎委員。

○ 8番 亀 里 敏 郎 委 員

論調な御答弁で大変、意を強くしております。どうかこの北部振興事業の補助金が実のある補助金となるように、最大限に有効に活用していただいて、世界に誇れるハイビスカス園にしようじゃありませんか。終わります。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

5番 内間広樹委員。

○ 5番 内 間 広 樹 委 員

歳出50ページ、細節106. 農業災害対策特別資金利子補給金について、関連してなんですけれども、議会ではあまりお礼は言わないほうがいいよとも言われるんですが、平成23年5月に、これから最盛期を迎えていく葉たばこを台風が直撃をして、島内一円全壊しました。そのときに、葉たばこの生産組合から幾つかの、当局に対しての要望した中の一つに、この農業対策特別資金利子補給金で5カ年間、半額補給していただきました。この事業が5カ年事業で、平成28年に終了したということで、おかげさまでという言い方もおかしいんですけれども、経営立て直しの一助になったということで、お礼を言ってほしいということで、生産者団体から預かってまいりましたので、村当局、それから担当課、担当課の職員の皆さんにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

進行いたします。〔「質疑なし」の声あり〕

10款に入ります前に、2款で亀里敏郎委員の質疑に答弁漏れがありましたので、総務課から答弁をさせた

いと思います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

歳出の4ページでございます。1366. 世界のイージマンチュ交流派遣事業の報償費の平成27年度の実績でございますが、ブラジル、ボリビア、アルゼンチン、南米3カ国を訪問したわけなんです、そこでのその交流会の会場借上料として5万1,000円余り、3カ国で15万3,000円、そして民家の体験宿泊の謝礼として、ボリビアで5人が2泊しまして、延べ10泊で1日7,000円で、7万円余り。そしてアルゼンチンで4人が2泊しまして7,000円、延べ8泊で5万6,000円、合計で28万円、約28万円の支出をしております。さらに昨年でございますが、伊江島でイージマンチュ交流事業、招聘事業をいたしました、その交流会の中で民俗芸能や青年エイサー、フラダンスの披露、司会者、そして民謡を披露した知念さん等の出演者に対し、報償費として17万4,000円を支出しております。いずれにしましても、平成27年度の実績を見ますと、受け入れ先への村としての一部負担、そしてお礼の気持ちであるということで、御理解をいただければと思います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

それでは10款教育費、78ページから101ページまで。10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

99ページの総合運動公園整備事業について、伺います。計画とそれから計画変更があると思いますが、総合運動公園全体実施計画調査表、報告書、そこには工事費の予定額が計上されています。その工事の内容についてですが、1から6まであって、屋内練習場エリアが工事費全体で13億6,700万円余り、野球場エリアが14億6,623万8,500円、これは去った臨時会で、17億4,800万円余りに膨らむという答弁がありました。3つ目に、競技場エリア、これが10億7,500万円余り、4つ目にアスレチックエリア、これが11億8,500万円余り、5つ目にB&Gエリア、これが5億3,500万円余り、6つ目にその他エリアが3,795万円というふうになっております。工事費総額で48億268万7,540円、消費税込みで51億8,690万2,543円とされています。この事業費について、相当膨れているというこの間の野球場の予算については、約3億円余りオーバーしているという答弁でしたが、その6つの施設、それぞれについて、当初の計画と現在の予想、最終的にどうなるかわかりませんが、現在見積もっている金額について、報告をしていただきたい。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

教育行政課長 東江民雄君。

○ 教育行政課長 東 江 民 雄 君

先ほど説明の中で、総合運動公園実施調査報告書の中で、この5つがございます。現在、実施設計を行っておりますのが、野球場とアスレチックのみでございます、そのほかの陸上競技場、B&G等につきましては、まだ設計しておりませんので、計画書のと通りの今、事業費でございます。

実施設計を行いました、今工事を進めております野球場、そういったアスレチックにつきましては、その実施設計の中でこの工事費、単価等がありまして、工事設計をしたものが、この当初計画の14億6,600万円から17億4,400万円強へと増額した計画になっております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

屋内練習場エリアについては、もう終わっていますよね。それについてはどうですか。もうこの計画書より以上になることは、明らかでしょう。建設資材も値上がりしているでしょうし、消費税上がらなければい

いんですが、上げられる可能性はありますよ。今後の予想はどうか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

教育行政課長 東江民雄君。

○ 教育行政課長 東 江 民 雄 君

委員お説のとおり、この単価、資材の高騰というのは、これまでしている中で増えてきておりますので、野球場についても、この事業費は増える予想はされます。陸上競技場については、全体について、ただしこの中で幾ら、どれぐらい増えるという見込みは今、私の中では一応は持ち合わせておりませんので、増えるということは予想されます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

私、一般質問で一度質問したことがあるんですが、その当時は政策調整室が担当だったんですね。いつのまにか教育委員会が答弁するようになってきているんですが、いつからそうなっているんですか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

政策調整室長 宮城弘和君。

○ 政策調整室長 宮 城 弘 和 君

この事業につきましては、事業計画までは調整室で実施してございますが、社会教育体育施設ということで、教育委員会のほうに予算を移しまして、ただいま教育委員会のほうで事業を実施しているということでございます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

10番 名嘉 實委員。

○ 10番 名 嘉 實 委員

結局のところは予想できないということですね。今のところ。計画書と最終的にどうなるかということは。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮 里 徳 成 君

この計画のときは、計画時点での大体、建設単価をもとにしてやりますので、やはり実施する場合は、その年度、年々物価は上昇していきますので、それに基づいてまた設計、単価を拾い出していきますので、それと計画書につきましても中身を再度、吟味していきますので、それを勘案していくと、単価が上がるものだと当初から予想はしております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

副村長 名城政英君。

○ 副村長 名 城 政 英 君

ただいまのこの総合運動公園についての総合計画については、政策調整室が担当をして、今実施の段階で、社会体育という面から、教育委員会に担当させているわけですがけれども、既に工事も発注終わっておりますので、また教育委員会の業務量といいますか、いろいろと検討した結果、また野球場については、現場の実施が入ってきます。そういった面で技術的な面である程度理解できる。あるいは業者とも対等になって、事業執行できるという立場から考えてみると、平成29年度は建設課にまた事業実施を移していきたいと計画をしているところですので、また予算は教育委員会になっても、担当は建設課ということになることもありますので、そういった面では、今の予算の編成はそうなっていますが、御理解をお願いしたいと思います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

8番 亀里敏郎委員。

○ 8番 亀 里 敏 郎 委員

91ページと92ページにまたがりますけれども、まずは青壮年交流事業というのと、伊江島創生塾というのは、同じ内容なんでしょうか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮 里 徳 成 君

まず名称のほうから、事業名としましては、伊江村青壮年交流事業ということでやっております。その中で伊江島創生塾という形で、公民館事業とって社会と人材育成のために設けているものであります。特に内容といたしましては、地域の創生を担う若者に対して、みずから行う地域活性化をテーマに講話や意見交換会を通じて、地域活性化とはどういうものなのかを学んでいくプログラムということで、年6回ほど計画をしているところであります。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

8番 亀里敏郎委員。

○ 8番 亀 里 敏 郎 委員

大変崇高なすばらしい冠で感動しますけれども、実態はどうなんでしょうかね。伺います。これまで平成27年度から本事業は開始されているようではございますけれども、これまでこの平成29年度の予算書にあるこの伊江村青壮年交流事業、または伊江島創生塾にかかわる予算についてのトータルがありましたら、教えていただけますか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

教育行政課長 東江民雄君。

○ 教育行政課長 東 江 民 雄 君

平成29年度の事業でございますが、報償費で21万5,000円、そして旅費で5万8,000円、需用費で10万円、使用料及び賃借料で4万3,000円で…。

済みません、今集計するのに平成27年度の事業実績を持ち合わせておりませんので、集計の間、答弁を後ほどいたします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

8番 亀里敏郎委員。

○ 8番 亀 里 敏 郎 委員

わかりました。たいした額ではないと思いますけれども、そして済みません。

課長にこの伊江島創生塾、元は伊江村青壮年交流事業の資料を提供してくれないかと、お願いをしましたら、すごい不親切なこのチラシですね。伊江島創生塾受講生大募集（伊江村青壮年交流事業）伊江島地元が好きな全ての若者を望む。ということ、ここまではいいんです。内容、伊江島の地域創生を担う若者に対し、主にみずから行う地域活性化をテーマに、講話や意見交換を通じて、地方活性化とはどういうことを学んでいくプログラムになります。どういうことを学んでいくプログラムになります。ちょっとわかりませんね。御参加をお待ちしております。と、それまではいいんです。実施日ですね。8月、9月、10月、11月、12月の2月の平日とあります。時間は午後7時30分から午後10時とあります。

私が言いたいのは、年度まで入れたらどんなですか、これ。8月、10月、11月、12月、幾らでもありますよ、そういうのは。まずはこの募集、チラシから私、少しくレームをつけたいと思います。

そして皆さんの実績を私が見ますと、恐らく平成27年度この開所、塾を開所した当初は8月6日に行われているようですけれども、23名がおりました。そして9月7日が21名です。そして10月8日が18名、11月30日が13名、12月8日が14名、これ1月12日が14名、ただしこの内容が、この皆さんが参加された内容が、役場の職員がかなり占めております。そしてこの1期生、2期生の資料があるんですけれども、1期生がなんと8月13日が7名、9月21日が3名、10月27日が3名、11月18日が2名、12月6日が2名、12月6日と同じ日に2名、2名、これミスプリントじゃないでしょうかね。これね。12月6日火曜日、人数も一緒です。そして、2期生が8月23日が10名、9月21日が6名、10月27日が2名、11月18日が4名、なんと12月6日には1名、そして1月31日には2名ということで、この創生塾という皆さんの崇高な考え、すばらしいアイデアだと思います、これは。ただ実施していく上で、そういう内容でこういう予算を軽々しく計上して、執行するということは、いかなものかという、行政というのは、やはり最小の経費で最大の効果を導き出さなければいけないことだと、常日頃言われているんですけれども、今後皆様方は、どういう方向で受講生を増やし、そして実のある創生塾。伊江島を担う若者をつくるのか。

それともう1点、実際に皆さんのそういう本質は何ですか、目的は何だったんですか、本当の目的は、平たく言ってください。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮 里 徳 成 君

目的は、地域活性化ということでやっております。その中で、できれば交流のほうもできればということで計画をしておりました。しかし2回目に入ってから、塾生の皆さんからいろいろと意見も聞きながら、計画したところ、これは交流とは若干切り離れたほうが良いということもあって、それについては2年目からは切り離して、今は商工会のほうと、交流については一緒にできないものかということで、別途事業として今、商工会のほうと詰めているところであります。そういうことで、この塾生、確かに最初は非常に多くの方が参加しているんですけれども、年度末に行くにしたがって、参加者が非常に少なくなっているのは事実であります。

これはこちらの呼びかけ等も非常にまずかったというのも反省をしておりますし、年度末に行事が重なったというのも事実であります。そういうことで、これまでは年齢を制限しておりましたけれども、新年度におきましては、年齢の制限は取っ払うということで、広く村民に呼びかけをしていくということを考えております。

それから役場職員の人材育成も兼ねないといけないので、新規の職員に対しては、義務化をしていくということを考えております。そういうことで、広く村民に呼びかけると。これまで青年会に個別で説明もしておりましたけれども、なかなかそれだけでは浸透もしないということもあります。タイトルにおいても、少し仰々しいというものもあるということで、青年から聞いておりますので、それももう少し緩和をして、タイトルも名称のほうを副題をもっと柔らかいものにして、新年度は取り組んでいきたいと考えています。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

8番 亀里敏郎委員。

○ 8番 亀 里 敏 郎 委員

教育長、先ほどこのチラシは何なんですか。「年齢制限はなくなっている」と言いながら、なぜこのチラシは、「40歳未満の方全て」と書いてあるんですよ、大きく。どういう因果関係ですか。今の答弁とは。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮 里 徳 成 君

済みません。今、亀里委員が持つておられるのは、去年までのものです。平成29年度のものではありません。

そうですけれども、これは新年度のものではなくて、これまでの実績です。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

8番 亀里敏郎委員。

○ 8番 亀 里 敏 郎 委員

こういうことで答弁になりますか、教育長。はっきり言って。私に渡したんですよ。これには、受講生大分いたからということで、読み上げましたよね。「40歳未満の方全て」と、適当に渡しているんですか、皆さんは。議員に。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

教育行政課長 東江民雄君。

○ 教育行政課長 東 江 民 雄 君

今、亀里委員に渡したのは、昨年のチラシでございまして、大変失礼しています。先ほど冒頭で、委員からの御指摘で、本当に不親切なこのチラシであるというのは、実は平成28年度に募集したものでございまして、それを委員に、私のほうから手渡したということでございまして、ただいまの件にはおわび申し上げて、これ新年度、平成29年度に行うものにつきましては、先ほど言いましたように、もっと丁寧に記入をして、また募集をしていきたいと思っておりますので、このことについては、おわび申し上げます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

8番 亀里敏郎委員。

○ 8番 亀 里 敏 郎 委員

謙虚でなければ私はいけないと思います。職員というのは。我々は、いたずらに皆さんを困らそうとしてやっているんです。いい伊江島をつくるために、これはすごくいいかんぶりなんです。これにふさわしい業務内容であれば、村民も喜ぶし、伊江村の活性化、将来の伊江村の振興発展につながるんですよ。そして、ましてや最終的な目的である人口増にも寄与するものだと期待をするには、大きい存在です。

当初、裏側にはそういう人口増にもつなげようと、崇高な私は計画があったと思います。しかし今のところは適当に予算の浪費をしているような気がしてなりません。だけど先ほど、これから少し、かんぶりもかえて、方法もかえていくという、この事業にふさわしい内容をつくっていくということを聞いて安心していきますけれども、村長、何かありませんか。アドバイスが。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

亀里委員の中で、この事業の本来の目的について、もっとざっくりばらんに述べていただきたいという部分の質疑の内容もありましたが、実は正直申し上げまして、最初の走りは婚活でございました。そういう中で、本来は婚活事業であります。村の行政としてのそういう出会いの場を、村としてつくっていくという部分で、当初は総務のほうでということも考えておりました。隣の既に何回か申し上げたかも知れませんが、今帰仁村のほうで、教育委員会のほうで、そういう婚活事業をやっているという、当時の村長から聞いて、非常にうまくいっているということでしたから、教育委員会また婚活して、結婚して子どもが生まれれば、学校の児童生徒も増えるという意味で、今帰仁村は教育委員会が主体的にそういう事業やりますということで、今帰仁村が先にそういう事業をやっていたので、教育長にそういうことで、今帰仁村でそういうことを

発しているのです、こう行って勉強をしながら、ぜひ教育委員会のほうでやってほしいということで発したのが、この青壮年交流事業、今は創生塾です。そういう中で、私が聞いた中でも今帰仁村も教育委員会です。通常は通常の婚活ではなくて、やはりそういう研修をしながら、塾の勉強をして、塾を形成をしながら、本人の価値を高めながらなおかつ、この中で一緒に来た中で、そういう交流が図られて、自然にそういう男女の中で恋愛とか、その辺の部分がいくような感じの研修の事業の推進のやり方だったという部分を聞いて、教育委員会は教育委員会なりの方法でやってみたらどうですかという部分で、平成27年度からきょうまでしているわけです。そういう中で、先ほどあるように当初は20何名も来て、非常にいい走り出しだということも思っておりましたが、近年にはそういう部分でなかなかうまく機能していないという部分の人数の報告もありましたが、亀里委員の今回の御質疑でまた、教育委員会において、教育長を中心に、事業の新たな構築をして、もっと多くの皆さんがこの事業に参加をして、塾を高めて、伊江村の若者が島の将来について語り合いながら、今後伊江島のために頑張っていこうという、こういう団結力を深めるような、そういうような事業になってほしいと思っていますし、当初、婚活の部分で教育委員会にお願いしてきましたが、今後は村長部局のほうで、その辺の部分は引き取って、もっとフランクにそういう部分が図れる。交流ができるようなそういう事業は、村長部局のほうでやっていきたいと思っておりますので、平成29年度中にその辺の部分が、みんなで庁議等で検討しながら、走り出すことができるようにまた意思統一を図っていききたいと思っております。

教育委員会においては、事業の再構築をやって、この予算を計上している費用に見合うような事業の効果が発言できるようにぜひ取り組んでいただきたいと思います。当初の目的だった男女の出会いの場の創出という部分は、村長部局で平成29年度は頑張っていきたいと思っておりますので、ぜひ御理解をよろしくお願ひします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

本日の会議時間は、議事日程の都合によりあらかじめ延長させていただきます。

再度、質疑を許します。1番 島袋義範委員。

○ 1番 島 袋 義 範 委員

中学校費に関連してお伺いします。去った土曜日11日ですか、伊江中学校の卒業式がありました。卒業式ですね、毎回感動、あるいはまた涙を流す場面もございますけれども、その卒業式の中の一つに、私個人としては間違いじゃないかというのがありましたので、教育長にその辺をお伺いをしたいと思っておりますけれども、3年皆勤賞、これはもちろん中学校の校長の名前でやるべきだと思いますけれども、9年皆勤が中学校の校長の名前になっていたんですよ。私は中学校の3年間は中学校の校長の責任。だけど、小学校からの9カ年というのは、義務教育の期間というのは、教育長の名前で表彰すべきではないかと私は思って、教育長にもそうじゃないかと言ったんですけれども、きのう実は合格祝いがありまして、その家にも寄りました。そして、その家族に、「教育長か誰か来ていたか」と聞いたら、「誰も来ていない」と、「何ですか」と言うから、「この表彰の件、私はそう思っているんだが」と言ったら、家族の人もそう思っていたらしいです。これまでは教育長ではなかったかな、わからないけど、覚えていないからわからないけど、その辺、学校長からされる表彰と、村を代表する教育長として表彰する重みが、私は全然違うと思うんです。その子どもに対して失礼だと私は思います。その辺どう思うか、お伺いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮 里 徳 成 君

9カ年皆勤について、依頼されたときに、当然私の名前だと思っていたんですが、これまでもそうだった

と私は認識していたんですけれども、名前が校長名でしたので、そのまま読み上げましたけれども、これについては、再度確認をして、また対応をしていきたいと考えております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

1番 島袋義範委員。

○ 1番 島 袋 義 範 委員

今、教育長も自分の名前ではなかったということで、違和感を感じたとおっしゃっていますけれども、これはそう感じたら、間違っていることに気がついたら、中学校にすぐ正すか、その家庭に行って、「こうこうだからすぐ直そう」という態度がなければ、いつまでももう11日からきのうまで、もう5日もあるわけです。もう直されたかと思ったわけです。それ直されていないと。教育委員会から何の連絡もないということが、どういうものかと首をかしげるんですよ。自分で確認をして、部下にでも言いつけて、課長にでも言いつけてでもいいから、そういうのは早目に調べて対応すべきではなかったかというふうに私は思うのです。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮 里 徳 成 君

今、島袋委員の言われるとおりで思っております。残念ながら、こちら議会对応でそれが後手に回ったことを、ものすごく反省しておりますので、今後については、できるだけ早く、対応をしていきたいと考えております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

11番 内田竹保委員。

○ 11番 内 田 竹 保 委員

教育費に関連してお伺いします。最近ですね、村外から、あるいは県外から大人の皆さんが民泊をしながら、伊江村内にある歌碑めぐりをする傾向にあり、また今後増えると伺っておりますが、これは民泊事業主の皆さんが村当局にお願いすべきことかもしれません。

2、3回案内していくうちに、たまたま村出身の方が本島から連れてきて、その歌碑の案内を聞いたみたいですが、帰り際に「きょうの案内は間違っていた」と、「こうじゃないはずだが」というような苦情があったようです。

そこで、今後において、案内人に統一したこの歌碑案内をするために、民泊関係者、案内人を含めてであります。講習会をしたらどうなるのかという思いがあるんです。文化財保護審議委員会も5名委員の皆さんがいらっしやいまして、非常にこの歌碑については詳しい方々ですけれども、この件については、伊江島観光協会のほうにも、私この旨を伝えてあります。ぜひ統一するためには、教育委員会にお願いをして、「一度は講習会を持つ必要があるんじゃないの」ということと言っておりますけれども、冒頭で言いました私からお願いすることでもないかもしれませんが、観光協会あるいはTAMAレンタ、こころにタイアップをしていただいて、こういった機会をつくるのも、今後においていいのではないかと思うんですけれども、もしこういった協力体制、協力要請があれば、ぜひ対応していただきたいと考えますが、いかがでしょうか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮 里 徳 成 君

以前にも民泊のほうから、機会があればということで、個人的にはこの歌碑めぐりについてありました。ただこれまではその対応ができなくて、申しわけないと思っているんですけれども、今回琉歌の講師をされる方を相談されて、今年琉歌の講座も、公民館講座も予定しております。またそれとは別に、歌碑について

も、1回は持ちたいと思っております。それは村民対象という形ですので、民間の皆さんもぜひ参加をしていただきたいと思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

11番 内田竹保委員。

○ 11番 内 田 竹 保 委員

村民対象ということでしたけれども、この2カ所の事業所には、この会員の中の全ての皆さんが案内ではないと思いますが、両事業所にもぜひ働きかけをしていただいて、説明会をしていただきたいと思っておりますので、ひとつお願いいたします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

3番 山城善彦委員。

○ 3番 山 城 善 彦 委員

93ページ、今回改善センターの修繕費が載っておりますが、それに関連してですが、改善センターは大分、老朽化してしまっていて、いろいろと修繕するところも多いかと思いますが、結構利用するときに、後ろの控室からのところが、通路ですか。電気が切れていたり、東側の非常階段ですか、ステップのほうがりどめが取れていたりということがありまして、この前気がつきまして職員の皆さんに見てもらって、話もしたんですが、それは今回、入っているかどうかということと。

それと控室を使って、舞台上がるときに、毎回思うんですよ。靴を履いて移動すると、大勢だとあそこで混雑して、そういうこともあります。普段、段ボールを敷いたり、こういういろんなことをしているんです。それをちゃんとした形を、ステージを使うときに移動が簡単にできるような形にできないか、それをひとつ、お願いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

教育行政課長 東江民雄君。

○ 教育行政課長 東 江 民 雄 君

改善センターの老朽化等で、先ほどのお話があります。電気につきましては、外階段の団体室、外から入るところにつきましては、実はこの前、会合があったときに、昼間に入りまして、そして少し暗くなったのを知らないで、ずっとホールでの講演があったものですから、担当が付け忘れて、そうなった。と言いますのは、外にも電気がございまして、そのことで暗くて御迷惑をかけたということがございましたので、そういったところはまた気をつけていきたいと思っております。

そして今の階段の補修につきまして、この補修費、特にこの補修費という予定はございませんが、この予算の中でぜひ、こういった階段の補修につきましても、進めていきたいと考えております。

そして控室からこのホールの舞台上がるところにつきましても、靴を履かないで、ただそのままやると、ごみとか、いろんな常設になると、違和感があるのかと思いますので、すのこを置くとか、そのようなことを考えながら、靴なしで入れるような方法も構築していきたいと考えております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

3番 山城善彦委員。

○ 3番 山 城 善 彦 委員

担当が前もって電気をつければ、解決するということだと思うんですけども、実際に見て、トイレの前あたりですか、蛍光灯がさびた状態なんですよ。できたらそういったところも改修してもらいたいと思っております。

それで今のすのこで対応するということだと思うんですが、ぜひですね、そのまま足袋を履いたり、その

ままで行けるような状態をぜひつくっていただきたいと思います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

休憩します。

(休憩時刻17時07分)

再開します。

(再開時刻17時08分)

教育行政課長 東江民雄君。

○ 教育行政課長 東 江 民 雄 君

先ほどの答弁で、これまですのこを設置してございましたが、このすのこが歩くたびにいろいろと音が出たり、それが不具合、踊りに対して聞き苦しいところがあるということで、そういったことも含めまして、対応を考えていきたいと思います。

そして平成29年度にそのほかにも、2階のほうについて、LED電球を今年度で設置する予定でございますので、その暗さ対策につきましては、そこで対応していきたいと考えております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

3番 山城善彦委員。

○ 3番 山 城 善 彦 委員

今回も後で職員の方が中のほうにスイッチがあるんです。外にあるの。それでわからなくて、みんなで探すんですけども、外電気がわからなくて、つけないままの状態だったんです。ですからこれはちゃんとわかるような形にしてもらって、ぜひお願いします。

教育課長、今度異動だというんですけども、このまま引き継ぎしないでまた逃げたりしないですよ。よろしくをお願いしますよ。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

教育行政課長 東江民雄君。

○ 教育行政課長 東 江 民 雄 君

ただいまのこの質疑につきましては、職員みんな見ておりますので、その担当はちゃんとやっております。ただ忘れることはありませんので、引き継ぎしたいと思います。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

2番 島袋 勉委員。

○ 2番 島 袋 勉 委員

歳出79ページの8節報償費の細節101. 報償費のほうの細かい説明をお願いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

教育行政課長 東江民雄君。

○ 教育行政課長 東 江 民 雄 君

まず教育相談員の謝礼金といたしまして、毎月8回相談員がおりまして、その12カ月ですね。62万4,000円でございます。そして教育委員会の外部評価を担う、委員の謝礼として3名の先生で1万2,000円、そしてスクールカウンセラーが毎月、名護のほうから来ていただきまして、約40万円でございます。そしてそのほか、教職員向けの研修会として、学校の先生等の研修会がございまして、そこで21万円です。そしてその心理学の先生に、子どもたちの判定をしていただくために、2回ほどありまして、お二人の先生方に11万円でございます。

そして今年度、新たに夏季休暇中の無料塾を開設するための事業費として42万円計上してございます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

2番 島袋 勉委員。

○ 2番 島袋 勉 委員

この無料塾の42万円は、どういった方に予定しているんですか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮 里 徳 成 君

今、名桜大学のほうで、地域貢献ということで、地域において学生のほうがこの子どもたちの支援をしている制度がありますので、それを活用していきたいと考えております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

2番 島袋 勉委員。

○ 2番 島袋 勉 委員

自分は1回、この無料塾に関して、一般質問をしました。その中で、地域にも塾等があるんだけど、そこを調整をして、できるだけ地域の事業所の方も入れたほうがいいんじゃないかということで、提言したことがあると思いますが、地域の事業所とは調整されたんでしょうか。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮 里 徳 成 君

塾の先生方の意見も聞きながら、できるだけ民間との差がないようにということで、夏休みの長期期間の間で、補習授業の中でやるという形で、昼間の時間で対応していくという形で、それぞれ民間のほうは民間のほうでやってもらうという形であります。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

2番 島袋 勉委員。

○ 2番 島袋 勉 委員

わかりました。今回が初めての無料塾になると思います。今回の対象が中学生だけになっておりますが、実際、小学校1年、2年、3年、一番学習としては基本的に大事な時期になります。中学校等では受験に対する対策が主になると思いますが、基本的な学習の最初の一步というのは、小学校の低学年が一番大事な時期になると思います。そういった時期に、学習意欲を高めていくのが将来的に一番大事でありますし、意欲も高めていく大事な時期になると思いますので、平成29年度は中学生を対象にしておりますが、平成30年以降、小学生も対象に考えられないかどうか、お伺いします。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮 里 徳 成 君

今ですね、各学校には4名の支援員を置いて、この支援員も一緒になって、先生と一緒に、児童生徒に対応していきますので、それを見ながら、小学校においては、まだ平成29年度はじめての時期でありますので、そこを地域の先生とも相談をしながら、これが実際にどういうふうに運営していけばいいのか。そういうのも考えながら、検討をしながら、実施が必要であれば、またそのときに考えていきたいと思っております。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

2番 島袋 勉委員。

○ 2番 島袋 勉 委員

前向きに検討をお願いします。今さっきの説明では、名桜大学の生徒を活用するという話ですので、私た

ちの卒業生等でも大学生がいっぱいいますよね。そういった方がもし島に帰ってくる学生も多々いると思いますので利用されるのも一番いいことだと思います。地域等のつながり、先輩、後輩のつながり、あわよくばこの地域のつながりを利用して、地元の大事さもわかると思いますので、私たちの村出身の大学生にもある程度、情報を流して、できるだけそういった人材を利用しながら、小学生の基本的な学力の向上も考えていただければと思いますので、平成30年、平成31年に向けてぜひ、検討されるように希望申し上げます。

○ 委員長 渡久地 政 雄 君

10款ないでしょうか。〔「質疑なし」の声あり〕

お諮りします。質疑の途中ですが、本日の会議はこれで延会したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって本日はこれで延会することに決定しました。

以上で本日の日程は終了しました。

本日は、これで延会します。

(延会時刻17時17分)